

青年海外協力隊 平成23年度春要請集

平成23年4月

No.1

農林水産・加工部門



独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/333.9
SE
23-1

15324



青年海外協力隊 平成23年度春募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ	
1001	食用作物・稲作栽培	スーダン	47211A01	1
1001	食用作物・稲作栽培	ナミビア	52711A01	2
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54511A01	3
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54511A22	4
1001	食用作物・稲作栽培	ルワンダ	63611A11	5
1001	食用作物・稲作栽培	ルワンダ	63611A12	6
1003	野菜栽培	インドネシア	00611A09	7
1003	野菜栽培	フィリピン	01211A18	8
1003	野菜栽培	ベトナム	02711A02	9
1003	野菜栽培	バブアニューギニア	12411A01	10
1003	野菜栽培	エクアドル	31811A01	11
1003	野菜栽培	マラウイ	52411A01	12
1003	野菜栽培	マラウイ	52411A02	13
1003	野菜栽培	マラウイ	52411A03	14
1003	野菜栽培	ガボン	60911A04	15
1003	野菜栽培	ガボン	60911A06	16
1003	野菜栽培	ガボン	60911A08	17
1003	野菜栽培	モザンビーク	63011A04	18
1003	野菜栽培	セネガル	64211A03	19
1003	野菜栽培	セネガル	64211A08	20
1003	野菜栽培	キルギス	74511A04	21
1004	果樹栽培	インドネシア	00611A10	22
1004	果樹栽培	ブータン	04811A20	23
1004	果樹栽培	マラウイ	52411A40	24
1004	果樹栽培	マラウイ	52411A41	25
1004	果樹栽培	ブルキナファソ	56311A01	26
1004	果樹栽培	ウズベキスタン	76311A06	27
1006	きのこ栽培	カンボジア	02111A09	28
1006	きのこ栽培	ブータン	04811A03	29
1006	きのこ栽培	サモア	13911A07	30
1101	病虫害対策	エルサルバドル	22711A05	31
1101	病虫害対策	コロンビア	31511A02	32
1102	土壌肥料	ドミニカ共和国	22411A03	33
1102	土壌肥料	エクアドル	31811A02	34
1201	農業土木	モザンビーク	63011A08	35
1201	農業土木	モザンビーク	63011A09	36
1202	農業機械	ブータン	04811A21	37
1202	農業機械	ポリビア	30611A06	38
1202	農業機械	ガボン	60911A11	39
1402	家畜飼育	フィリピン	01211A11	40
1402	家畜飼育	ブータン	04811A04	41
1402	家畜飼育	ニカラグア	24811A01	42
1402	家畜飼育	エクアドル	31811A03	43
1402	家畜飼育	エクアドル	31811A15	44
1402	家畜飼育	マラウイ	52411A05	45
1402	家畜飼育	マラウイ	52411A42	46
1402	家畜飼育	マラウイ	52411A43	47
1402	家畜飼育	ウガンダ	54511A02	48
1402	家畜飼育	タンザニア	54811A01	49
1403	獣医・衛生	ブータン	04811A05	50

職種	国名	要請番号	ページ	
1403	獣医・衛生	ウガンダ	54511A03	51
1403	獣医・衛生	ウガンダ	54511A04	52
1403	獣医・衛生	ルワンダ	63611A13	53
1501	農業協同組合	フィリピン	01211A16	54
1501	農業協同組合	ネパール	06011A01	55
1503	村落開発普及員	マレーシア	00911A04	56
1503	村落開発普及員	フィリピン	01211A07	57
1503	村落開発普及員	フィリピン	01211A14	58
1503	村落開発普及員	フィリピン	01211A15	59
1503	村落開発普及員	フィリピン	01211A17	60
1503	村落開発普及員	ベトナム	02711A09	61
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A26	62
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A27	63
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A28	64
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A29	65
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A30	66
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A35	67
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A36	68
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A44	69
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A45	70
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A46	71
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111A47	72
1503	村落開発普及員	ネパール	06011A02	73
1503	村落開発普及員	ネパール	06011A03	74
1503	村落開発普及員	ネパール	06011A04	75
1503	村落開発普及員	ネパール	06011A05	76
1503	村落開発普及員	ネパール	06011A08	77
1503	村落開発普及員	スリランカ	06611A14	78
1503	村落開発普及員	フィジー	10611A01	79
1503	村落開発普及員	バブアニューギニア	12411A02	80
1503	村落開発普及員	バブアニューギニア	12411A03	81
1503	村落開発普及員	バブアニューギニア	12411A04	82
1503	村落開発普及員	ソロモン	12711A05	83
1503	村落開発普及員	ソロモン	12711A09	84
1503	村落開発普及員	トンガ	13011A06	85
1503	村落開発普及員	バヌアツ	13611A07	86
1503	村落開発普及員	ペリーズ	21211A07	87
1503	村落開発普及員	コスタリカ	21511A01	88
1503	村落開発普及員	ドミニカ共和国	22411A02	89
1503	村落開発普及員	ドミニカ共和国	22411A04	90
1503	村落開発普及員	ホンジュラス	23911A24	91
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32411A07	92
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32411A10	93
1503	村落開発普及員	モロッコ	46911A01	94
1503	村落開発普及員	スーダン	47211A02	95
1503	村落開発普及員	スーダン	47211A03	96
1503	村落開発普及員	スーダン	47211A04	97
1503	村落開発普及員	ケニア	51511A01	98
1503	村落開発普及員	ケニア	51511A02	99
1503	村落開発普及員	ケニア	51511A13	100

青年海外協力隊 平成23年度春募集要請集

1503	村落開発普及員	ケニア	51511A14	101
1503	村落開発普及員	ケニア	51511A17	102
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411A06	103
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411A07	104
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411A08	105
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411A09	106
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411A10	107
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411A11	108
1503	村落開発普及員	ナミビア	52711A06	109
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511A05	110
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511A06	111
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111A05	112
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111A06	113
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111A07	114
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111A08	115
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111A10	118
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111A14	117
1503	村落開発普及員	ベナン	56011A01	118
1503	村落開発普及員	ベナン	56011A02	119
1503	村落開発普及員	ベナン	56011A03	120
1503	村落開発普及員	ブルキナファソ	56311A11	121
1503	村落開発普及員	カメルーン	56911A01	122
1503	村落開発普及員	カメルーン	56911A02	123
1503	村落開発普及員	ジブチ	60311A03	124
1503	村落開発普及員	ガボン	60911A05	125
1503	村落開発普及員	マリ	62111A07	126
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63011A01	127
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63011A02	128
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63011A03	129
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63811A04	130
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63811A05	131
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63811A06	132

1503	村落開発普及員	セネガル	64211A01	133
1503	村落開発普及員	セネガル	64211A02	134
1503	村落開発普及員	セネガル	64211A04	135
1503	村落開発普及員	セネガル	64211A07	136
1503	村落開発普及員	セネガル	64211A11	137
1503	村落開発普及員	セネガル	64211A16	138
1503	村落開発普及員	キルギス	74511A01	139
1503	村落開発普及員	キルギス	74511A02	140
1503	村落開発普及員	キルギス	74511A05	141
1601	食品加工	ホンジュラス	23911A25	142
1601	食品加工	エチオピア	50611A08	143
1602	農畜産物加工	エチオピア	50611A09	144
1603	乳製品加工	エチオピア	50611A10	145
1604	水産物加工	インドネシア	00611A11	146
1702	植林	トンガ	13011A05	147
1702	植林	マリ	62111A08	148
1803	養殖	フィリピン	01211A19	149
1803	養殖	フィリピン	01211A20	150
1803	養殖	ジンバブエ	55411A03	151
1803	養殖	ガボン	60911A07	152
1803	養殖	ガボン	60911A12	153
1803	養殖	マリ	62111A09	154
1902	生態調査	コスタリカ	21511A02	155
2001	陶磁器	ホンジュラス	23911A23	156
2001	陶磁器	マラウイ	52411A12	157
2002	竹工芸	タンザニア	54811A02	158
2003	木工	サモア	13911A08	159
2003	木工	ジャマイカ	24211A02	160
2003	木工	ジャマイカ	24211A03	161
2004	皮革工芸	ボツワナ	50311A01	162
2201	溶接	フィリピン	01211A21	163
2201	溶接	スーダン	47211A05	164

この要請集は平成23年2月末までの各国からの要請をとりまとめたものです。
 ただし、受入国の事情により、募集から選考までの期間内に、要請の変更・取消が行われることもあります。これらの変更・取消要請に関する情報については、JICAボランティアウェブサイトをご覧ください。

URL: <http://jocv-info.jica.go.jp/jv/>



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 472 - 11 - A - 01)

調査者名:長田 彩子、山田 幸

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
スーダン	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1
年 月 日 から					

開発課題 スーダン その他開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 統一政府農業省 (受入機関名)(英語) Federal Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 農業研究機構 本部 (英語) Agricultural Research Corporation (ARC)
	3) 任地 ゲジラ州 ワドメダニ 首都(ハルツーム)から 南東 方向 150 Km 主要都市(ハルツーム)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ARCは1902年に設立されたスーダンの国立農業研究機関で、アフリカで最も古い農業研究機関の一つである。現在は国全体の農業研究システムを包括し全国に23の試験場と9の研究センター、約500名の研究スタッフ(うち博士号取得者122名、修士218名、学士152名)を有する。ARC本部にはスタッフの大部分が配置されている。同国農業分野でJICAは『農業再活性化計画』実施能力強化プロジェクトを実施中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ARCでは2000年より稲研究プログラム(National Rice Research Programme)が開始されて以来、国際稲研究所(IRRI)から入手した品種について栽培試験を行い、2008年からはネリカ品種についても栽培試験を行っている。2010年には4品種を承認品種として発表しているが、今後さらに継続的に品種選定試験を行う必要があることに加え、試験の精度を高めることが求められており、今回の隊員要請に至った。米は同国政府の農業開発戦略である「農業再活性化計画」の中でも戦略的換金作物と位置づけられるとともに、同国の自然環境下に適した推奨品種選定はスーダン政府農業省の優先分野でもある。
	2) 期待される具体的業務内容 ARC職員らと日常業務を通じて、以下の活動に取り組む。 1. ARCの稲研究プログラムによる栽培試験計画について同僚らと意見交換し、必要に応じて助言する 2. ARCの試験栽培圃場において実施される各種稲作栽培試験の区画デザイン、栽培管理、データ収集、分析に係る支援を行う 3. 上記JICAプロジェクトと情報共有し、活動を通じて得られた知見の有効活用を図る
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験器具、計測機器等
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル National Rice Research Coordinator 1名(植物育種の博士号を有する研究者(スーダンにおける綿花研究の第一人者)、50代 ARC職員(博士号、修士号を有する農業研究者)
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 () 英語 () 6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由:
- ・ 学歴 () () 学歴理由:
- ・ 経験 () () 経験理由:
- ・ 農学部卒もしくは関連業務経験者 理由:
- 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(砂漠気候) 気温(30-45℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
況況	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 527 - 11 - A - 01)

調査者名: 白田 貴史

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ナミビア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 基礎生活の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ナミビア大学オゴンゴ校 (英語) University of Namibia Ogongo Campus
	3) 任地 オシャナ州 オゴンゴ 首都(ヴイントフック)から 北西 方向 800 Km 主要都市(オンジャカティ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナミビア国における唯一の4年生総合大学で約1万人の学生を擁する。オゴンゴ校は、季節湿地への稲作導入を含む乾燥地作物生産に関する技術開発を担い、ナミビア国の作物生産効率を高めることを目的としている。予算: ナミビア大学オゴンゴキャンパス経常経費 3500万円/年程度。外国の援助状況は特になし。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) オゴンゴ校が位置するオシャナ州は、年間降水量が約400mmの半乾燥地域であるが、雨季になると隣国からの洪水を受けるため、広大な季節性湿地帯が形成される。現地の自給自足農家は乾燥地での栽培に適したトウジンビエ栽培と放牧を生業としており、湿地での作物栽培は行われていない。現地大学には元JICA研修生が6名在籍しており、彼らを中心として、この湿地に稲を導入しようとする研究プロジェクトが実施されているため、多くの現地農家が稲の栽培を試すことを望んでいる。そこで、ナミビア大学から稲作隊員の派遣が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 ① 農家及び学生に対する稲作栽培啓発活動。 ② 学生への実習の一環として、大学内の実験農場で稲を栽培し、展示圃場を管理運営。 ③ 稲の展示圃場で、稲の生育を観察し、栽培技術を皆で検討する現場での講習会の企画運営。 ④ 大学の技術職員と協働作業を通して現地の湿地に適した品種群の展示圃場の管理運営。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 JICAフォローアップ事業により提供された籾摺り精米機	
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地農家、学生: 技術レベルは初歩 大学スタッフ: 元JICA研修員であり、レベルは初中級	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () ()
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
- ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: 大学生が対象であり農学全般知識が必須
- ・経験 () () 経験理由:
- 理由:
- 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(サバンナ) 気温(10~45℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地 況	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 545 - 11- A - 01)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				

開発課題 農業近代化促進

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所 (英語) National Crops Resources Research Institute
	3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ 首都(カンバラ)から 北 方向 25 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.8 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある国立作物資源研究所は、食用作物全般の研究を実施している。JICAは2004年6月から個別専門家「ネリカ米適用化技術」を継続的に派遣。同専門家は、国立作物資源研究所においてネリカ米の品種試験を実施、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開。2008年7月からは「ネリカ米振興プロジェクト」が開始された。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダにおいては、農民のネリカ米栽培への関心が高まりつつあり、技術指導へのニーズは極めて高い。一方で、ウガンダの稲作は歴史が浅く、特に研究分野では人材が少なく、適正な技術開発・指導ができる人材が極めて限られている。そこで、近年稲作研究及び技術普及に力を入れている国立作物資源研究所から、JICAプロジェクトと連携しつつ、必要な技術指導を行なうためのボランティアの派遣が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施 2. 農家圃場における実証試験の実施 3. ウガンダ各地で活動する稲作隊員への技術的支援	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ネリカ米の研究を行っているCereal Programは総勢14名のスタッフがいる。うち、Researcherは博士号、Research Assistantは修士号を有している。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(修士)(農学) 学歴理由: 栽培試験等、農学(稲作)の知識が不可欠 ・経験() () 経験理由: 理由: 農村の巡回に必要なため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(20-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	---

平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号(JL 545 - 11 - A - 22)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 7 月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	24 / 1
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 農業近代化促進

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所 (英語) National Crops Resources Research Institute
	3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ 首都(カンバラ)から 北 方向 25 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある作物資源研究所は、首都カンバラの北25kmに位置し、食用作物全般の研究を実施している。JICAは2004年6月から個別専門家「ネリカ米適用化技術」を継続的に派遣し、ナムロンゲ農業研究所のネリカ品種試験を実施し、研修や種子配付を通じた普及活動を展開し、2008年からはコメ振興プログラムの下「ネリカ米振興プロジェクト」を開始した。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカの米生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げており、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転をめざしている。しかしながら未だ適切な栽培方法の指導が求められることから、JICAプロジェクトと連携しつつ、必要な技術指導を行なうための長期隊員の派遣が要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 1. プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施 2. 農家圃場における実証試験の実施 3. ウガンダ各地で活動するネリカ隊員への技術的支援 4. 同プロジェクトに関連する他の隊員や活動地域の普及員とともに、稲栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ネリカの研究を行っているCereal Programには総勢14名のスタッフがいる。うち、Researcherは博士号、Research Assistantは修士号を有している。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ガンダ語) ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	---	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 栽培試験等を行うため ・経験() () 経験理由: ・小型自動二輪以上 理由: 村落部への巡回に必要なため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号(JL 636 - 11 - A - 11)

調査者名: 吉永 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ルワンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 農業・農村生活改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方自治省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government
	2) 配属先名 (日本語) 東部県ンゴマ郡ルレンゲセクター事務所 (英語) Rurenge Sector Office
	3) 任地 東部県ンゴマ郡ルレンゲ 首都(キガリ)から 南東 方向 106 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.75 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2006年の地方分権化によって、ルワンダの行政は4県及びキガリ市、30郡体制へと再編された。ルレンゲセクターの人口は約22,700人、37の再定住地域を含む6つのセルの上部機関であり、住民組織とともに地域住民への行政サービスに取り組んでいる。気候は温暖で降雨量は年間1,100mm、米のほかにソルガム、メイズ、キャッサバなどの食用作物が栽培されており、住民の90%は農業従事者である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同セクターはンゴマ郡の北部に位置し、湿地を利用した二期作の稲作栽培が盛んな地域である。稲作関連の農業協同組合は3つあり、そのうちの代表的な稲作協同組合COPRIMWAの2008年稲作栽培面積は205ha、700名の組合員を擁している。世銀やルワンダ政府のプロジェクトが実施されており、篤農家を中心とした稲作栽培の指導や種籾栽培など、更なる稲作振興が期待されている。また、稲作協同組合への活動支援も期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 農業協同組合の圃場は配属先から5-7キロ程度離れており、農業技官と共に稲作栽培や種籾栽培等の技術的指導を行う。 2. 湿地を利用した二期作の稲作栽培であることから、集約的栽培方法による収量増加技術が求められる。(現状は3-4t/ha、目標7t/ha) 農業協同組合員又は現地農民を対象に稲作栽培指導をし、組合員の生計向上・生活改善を行う。 3. 稲作共同組合の強化(組織運営)や種籾生産技術の指導等も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務所(机、椅子)	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル セクター長、社会問題担当、農業技官(40代男性)各1名 住民団体 団体長 男性 40代		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(高等専門学校卒)(農学) 学歴理由: ・経験() 経験理由: ・稲作栽培経験 理由: 理由:			

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 域	気候(熱帯性) 気温(15-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-------------	---



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 9 月 14 日

要請番号(JL 636 - 11 - A - 12)	調査者名: 吉永 由美
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ルワンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 ・ ルワンダ その他開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 地方自治省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Development, Community Development and Social Affairs
	2)配属先名 (日本語) 東部県ブゲセラ郡ルフハセクター事務所 (英語) Districte of Bugesera, Ruhuha sector
	3)任地 東部県ブゲセラ郡ルフハセクター 首都(キガリ)から 南東 方向 56 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ルフハ地域はブゲセラ郡の南端に位置し、稲作や果樹栽培の盛んな地域であり、湿地を利用した二期作の稲作栽培や丘陵地を利用したパイナップル栽培などが営まれている。同地域の人口は約27,000人、地域市場をターゲットとした現金収入のための作物生産を中心に協同組合が多く設立されている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域はブゲセラ郡の南端に位置し、湿地を利用した二期作の稲作栽培が盛んな地域である。同地域の人口は約27,000人、稲作関連の農業協同組合は3つあり、そのうちの代表的な稲作協同組合は、2005年の稲作栽培面積は418ha、4,315名の組合員を擁している。同組合では、3台の精米機を稼働させて域内市場を対象に精米販売している。ニャプリバ湿地では、JICAの開発調査プロジェクトが実施され、篤農家を中心とした稲作栽培の指導や種籾生産などの実証調査が行われているため、同地域での更なる稲作振興が求められている。
	2)期待される具体的業務内容 ・地域の農業技官と共に巡回し、稲作協同組合の強化(組織運営)、精米技術の向上などを指導する。 ・単位あたり収量の増加 ・土壌侵食防止 ・水利用 ・栽培技術の向上 ・種籾生産技術の指導
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務所(机・椅子)

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業技官(30代、男性、大卒)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	--	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: 同僚と同等以上 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 経歴理由: ・実務経験: 稲作栽培経験 理由: 理由:
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯性気候) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	---

平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日育 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 7 日

要請番号(JL 006 - 11- A- 09)

調査者名: 末満広志

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 野菜栽培 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1

開発課題 東部インドネシア開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture	
	2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局 (英語) Bantaeng Local Government, Agriculture Office	
	3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)	
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 南スラウェシ州南部に位置する同県は、州内で最も小さい県で、人口は18万人、その75%が農業に従事、県収入のほとんどが農産物(一部海産物)である農業県である。2008年より就任した現在の県知事は、県の収入を増やすべく一般的な果実、野菜等の品質向上を目指すなど、様々な取り組みをしており、知事就任後、県収入は1.5倍に伸びた。	
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県では従来、ジャガイモ、トマト、ニンジン、キャベツ等が栽培されてきたが、今般新たに、サトイモ、サツマイモの導入を始めた。これらは、州内ではまだ栽培されておらず、輸出も含め新たな収入源として期待されている。現在は試験的に50ヘクタールで栽培、一株から0.8~1.5kgを収穫している。県としては、来年以降、栽培面積を増やし、一株あたりの収穫量の増加も目指しており、隊員の派遣が要請してきた。	
	2) 期待される具体的業務内容 標高約800mの農村(農家軒数:約500軒)に居住し、農民グループとともに以下の活動を行う。 ①主にサトイモ、サツマイモの栽培指導 ②サトイモ、サツマイモの種イモの栽培・保存指導。 また、可能であればその他の地域も巡回し、栽培指導を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般的な農機具等	
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農民グループリーダー: 男性、40代 その他、農民グループ農家	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 () ()
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)	
条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 基本的知識が必要なため。 ・経歴(実務経験) (2年以上) 経歴理由: 配属先要望による ・野菜栽培(特にイモ類)に関する経歴 理由: 理由:		
活動用交通手段の必要性		
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車	研修等	形態
		現職教員特別参加制度
		x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)		
概 況 地 域	気候(熱帯雨林) 気温(18~25℃位) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 7 日

要請番号(JL 012-11-A-18)

調査者名:後藤 晃

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 生計向上(貧困層の自立)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2) 配属先名 (日本語) NGOコード財団 (英語) Christian Organization for the Rehabilitation of the Disabled Foundation
	3) 任地 西ミンドロ州 サンホセ町 首都(マニラ)から 南 方向 300 Km 主要都市(マニラ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は障害児の教育を公的機関に代わり実施しているNGOである。サンホセ町内にある学校とは別に郊外に14haのオランダの機関から贈与された農地を所有し、ワーカーと不定期ではあるが作業可能な年長の障害者とともに農地を利用している。年間予算は約200万円。オランダの機関の支援を受けているがJICA、他のボランティア機関からの支援は受けていない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当財団はオランダの機関から毎年の運営費について支援を受けているが、財団の自立・発展性に向けて14haの農地についても同財団に贈与されている。しかし、とうもろこし、瓜、西瓜などの栽培はしているものの、農地を有効活用しているとはいえない状況にあり、この農地の有効活用支援のため隊員の要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 上記のような状況の中、隊員は農地の有効活用を通じて同NGOの食料・財政基盤への側面支援を行う。 具体的には農民、ワーカー及び農作業が可能な生徒を巻き込み農作物の生産について助言、計画、実施、指導を行う。農作物は販売用及び生徒の食料にもなることから栄養面の観点からも選択が必要である。 また、同国隊員配属先のなかでも僻地と言える生活活動環境の中、そういった環境に適応できる隊員が望まれる。更に上記のような状況の中、初代隊員はマンパワー的な活動に終始する可能性が高い。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農地、井戸、ポンプ、農機具	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農夫 2名(男性) ワーカー 2名(男性) NGO全体のスタッフは12名、生徒は17名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (タガログ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許()	・性別()	性別理由:
	・学歴()	()	学歴理由:
	・経験()	()	経験理由:
	・野菜栽培経験(2年程度)		理由: 主たる活動であるため経験は必要
			理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車	H	N	X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯性) 気温(20-35℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 24 日

要請番号(JL 027-11-A-02)

調査者名: 内田恭男/志賀龍

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 4
	指導科目			2	24 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	/

開発課題 農業・農村開発/地方開発

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業農村開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) 作物生産局 (英語) Department of Crop Production
	3) 任地 クアンナム省ハロン市 首都(ハノイ)から 北東 方向 170 Km 主要都市(ハロン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業農村開発省作物生産局は、ベトナムの農業生産管理全般を担う部局。農産物生産体制強化の一環として、全国に安全な作物栽培を普及する活動を行っている。同局はハノイに位置しているが、派遣されるボランティアはこの作物生産局より任地であるハロン市の経済局に派遣をされることとなる。配属先では、JICA技術プロジェクトの他、ADB(1.1億ドル)、CIDA(1600万ドル)などが安全作物普及支援を実施している。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ベトナムにおいては、年々高まる農産物の需要とそれに伴う作物の栽培規模の拡大によって、農業や化学肥料等の使用量が増大し、農産物の安全性確保が課題となっており、安全な作物栽培について農家に徹底することが重要となっている。こうした背景のもと、政府の要請により実施されているJICA技術プロジェクトでは、特に野菜栽培を通じた農業や化学肥料の適正な使用方法についての普及活動を実施している。このような取組みの中で、日本人専門家の指導・助言を受けながら現地において現地普及員とともに農家や農民組織に対する安全野菜栽培への支援を行うボランティアが必要とされている。現在は初代の隊員(22-1)がハロン市にて活動中。	
	2) 期待される具体的業務内容 クアンニン省ハロン市の野菜栽培農家および農協に対し、日本人専門家の指導・助言を受けながら、現地の農業普及担当職員とともに以下のような活動を行う。 ・農業や化学肥料などの適正な使用方法および記録作成に関する指導と現況調査。 ・プロジェクトが実施する安全作物栽培に関するワークショップ、セミナー等への参加と報告 ・その他、可能な範囲で、農民のニーズに応じた野菜栽培に関する助言を行う。 *活動当初は1ヶ月程度ハノイで専門家とともに活動をし、その後任地へ赴任する予定。おもな活動現場は、プロジェクトの重点対象であるハロン市の2つの農業協同組合となる。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコンやコピー機など一般事務機器は整備されており、ボランティアも利用可能。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本人専門家2名(通常はハノイに滞在) 農業技術普及員2名(女性/30代、50代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 () ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 指導を行うため 理由: 活動上必要 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			X

巡回に必要なため
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(亜熱帯) 気温(5~35℃位) 電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電域	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 7 日

要請番号(JL 124 - 11 - A - 01)

調査者名: 黒木 直敏

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Vegetable Growing			3	24 / 1
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 地方村落の生計向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 東ニューブリテン州政府 (受入機関名)(英語) East New Britain Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) NGO オイスカ ラバウルセンター (英語) NGO OISCA Eco Technical Training Center Rabaul
	3) 任地 東ニューブリテン州 ワランゴイ 首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 800 Km 主要都市(ココボ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は日本のNGO団体で、1987年にラバウルセンターを開所して以来、多くの青年、農民、教員、農業省職員などに稲作、野菜栽培、畜産等の有機循環農法の研修を実施している。年間予算は96万キナ(約3840万円)で、州政府から稲作研修・普及と植林プロジェクトに関して予算の配分を受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先スタッフは同研修所の卒業生で、日本のオイスカ研修センターでも1年間の専門訓練を受けている。しかしスタッフの多くは4-5年の勤務後に、実家に戻って農業指導を行うために退職してしまう傾向がある。教育内容はスタッフ個人個人の能力に依存していたため、教育内容を継承していくために文書・データ化が必要となりボランティアが要請された。前任者(村落開発普及員)は研修生向けの教材作成や訓練計画の作成、スタッフの技能向上などを目的とした活動を行っているが、さらなる継続が必要となり後任要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①配属先スタッフが行っている教育内容の改善のための助言を行う。 ②農場や牧場から日々の記録が取れるよう、スタッフ及び生徒を指導する。 ③配属先スタッフの業務効率を向上させるための業務改善を行う。 ④研修生や近隣学校の生徒達に日本を含む外国の状況や環境問題等についての啓発活動を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンター、FAX、耕運機、揚水ポンプ、精米機、など。	
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフは男女合わせ24名で、多くが中学校卒業後オイスカに入学し、日本のオイスカ研修センターでも1年程の訓練を受けている。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 () (ビジン語) ()
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別(男性) 性別理由: 安全対策上 ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 基本的農業知識を持つことが望ましいため ・経験() () 経験理由: 理由: 理由:
------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 318 - 11- A- 01)

調査者名: 櫻井 国弘

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
エクアドル	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 23 / 3	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2 23 / 4	
指導科目(英)	3 24 / 1				

開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) チュンチ市役所 (受入機関名)(英語) Municipal Office of Chunchi
	2) 配属先名 (日本語) チュンチ市役所 (英語) Municipal Office of Chunchi
	3) 任地 リオバンバ県チュンチ市 首都(キト市)から 南 方向 320 Km 主要都市(リオバンバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は市民生活の質の向上を目的に、公共サービスの提供、社会開発、生産経済の発展などの事業を実施している。ボランティアの配属先となる市役所・農業開発部では、野菜栽培、牧畜、果実栽培の振興に取り組んでいる。近年貧困による同市からの出稼ぎによる人口流出が社会問題となっている。年間予算約248万米ドル(市全体)。ベルギー、ポーランドなどからの経済的援助あり。長期に渡る人的支援はJICAボランティアのみ。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同市は山岳地帯に位置し、標高1,600m~4,300m(海拔)の間に55村が点在し、これらの村では自然環境に合わせて野菜栽培、家畜飼育、果樹栽培を行っている。しかし出稼ぎ者の増加に伴う農産物の生産量低下と化学肥料の大量使用による土壌肥沃度の低下が課題となっている。現在、市役所の担当職員が各村を巡回し農作物に関する技術指導を行っているが各作物にあわせた適切な技術を有した職員が少ないことからボランティアが要請された。市では、将来的に農産物を商品化し小規模農業従事者の所得向上を通じて、出稼ぎによる人口流出防止にも寄与することを意図している。青少年活動JV、看護師JV、栄養士SVが同市において活動中。	
	2) 期待される具体的業務内容 農業技術アドバイザーとして、配属先担当者と市内各村を巡回し、小規模農家を対象とした以下の活動を行う。 1. 伝統的作物(ジャガイモ、ソラマメ、ニンジンなど)の生産性及び品質改善に関する助言を行う。 2. 伝統的作物以外の野菜(ブロッコリーなど)を紹介し、必要に応じて栽培方法を指導する。 3. 有機栽培に関する基本的な指導を行う。 4. その他、同市の農業(野菜栽培)生産性や品質の向上に関する助言を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務器材、PC、 トラクター、巡回指導用車両(ボランティアは運転しない)	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先長: 30歳台男性、獣医師 配属先同僚: 40歳台男性、農業技師 その他: 不定期に農牧省、国立農業試験所の巡回指導員

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許()	・性別()	性別理由: ()
	・学歴(専門学校卒)	(農学)	学歴理由: 基本的理論指導と実技指導が必要なため
	・経験()	()	経験理由: ()
			理由: ()
			理由: ()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(山岳高地乾燥)	気温(10~25℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
状況	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 27 日

要請番号(JL 524 - 11 - A - 01)

調査者名: 大原 健治

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 4	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 マラウイ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 障がい者と高齢者省 (受入機関名)(英語) Ministry of Persons with Disabilities and the Elderly
	2) 配属先名 (日本語) カムズ障がい者職業訓練センター (英語) KAMUZU Vocational Rehabilitation and Training Centre
	3) 任地 ナマジ 首都(リロンゲ)から 南 方向 350 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同センターは、国連資本開発基金(UNCDF)、国連開発計画(UNDP)等 から資金的支援、技術的支援を受けて1983年に設立された。身体障がい者を中心に職業訓練を提供している。訓練は、縫製、木工、養鶏、秘書、皮革工芸、冷凍機器、金属加工、編み物の8コースで、1コース14名、期間は6ヶ月で年2回行われている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在各コースには1名ずつのインストラクターが配置されている。また課外活動として、インストラクターと障がい者が協力して、野菜と主食のとうもろこしの栽培、養鶏等を行っている。野菜の生産性の向上及び様々な野菜の栽培を行いたいとの希望からボランティア要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 農場部門指導者及び障がい者への野菜栽培技術指導 2. 様々な野菜の試験栽培	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トラクター、揚水ポンプ、スプリンクラー	
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル インストラクター・8名 生徒(障がい者)は身体障がい者が主であるが、様々な障がいを抱えた人々が対象となる。最近では健常者も入学している。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (チェワ語)
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴()() 学歴理由: ・経験(実務経験)(3年以上) 経験理由: 教員への野菜栽培指導も行うため 理由: 理由:
------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	H a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバンナ) 気温(10-33) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 524 - 11 - A - 02)

調査者名: 小林 聖子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	/	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 マラウイ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 障がい者と高齢者省 (受入機関名)(英語) Ministry of Persons with Disabilities and The Elderly
	2) 配属先名 (日本語) ムランジェ職業訓練盲学校 (英語) Mularnje Vocational Training Center for Blind
	3) 任地 ムランジェ 首都(リロングウェ)から 南東 方向 450 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 視覚障がい者の自立支援を目的として、1958年に設立された職業訓練施設で、生徒数40名、講師5名(農業・点字・コンピューター・竹細工等) その他スタッフ17名計22名が勤務している。年間予算は約2千万円。生徒は全寮制で10ヶ月間(9月~6月) 農業・手工芸・点字の学習を通じて、生活全般と卒業後の経済的自立が出来るよう訓練を受けている。生徒の年齢は幅広く、半盲から全盲までの生徒が在籍している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 視覚障がい者の自立支援のため農業が科目として教えられているが、専門的な見地から適切な野菜栽培の指導ができる人材がいない。そのためボランティアの派遣要請にいたった。現在、全体の訓練時間の4~5割は野菜栽培に関する講義・実習で占められている。派遣中のボランティアは、毎日1~2時間の校内での実習指導と週に2時間の教室型の講義を担当している。
	2) 期待される具体的業務内容 視覚障がい者(18歳以上の成人)を対象に以下の業務を行う。 1. 自給作物であるメイズ・トマト・葉野菜類(キャベツ・からし菜など)の基本的な栽培技術(播種・移植・その他の栽培管理)に関する指導。 2. 現地の環境に即した土壌改良や有機肥料作成についての技術・土壌管理指導。 3. 農薬を用いない病害虫管理の指導および導入。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鋤・じょうろ・一輪車・ロープなど
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: 同僚(教員・農業: 50歳代)及び、視覚障がい者 レベル: 同僚 慣行農法の知識はあるが、有機農法の知識は乏しい。 生徒 栽培技術の知識に乏しい。
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () (チェワ語) () 6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (V^N: C) <input type="checkbox"/> (V^N:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (専門学校卒) (農学) 学歴理由: ・経験 () () 経験理由: ・理由: ・理由:
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車	H a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概 況 気候(サバナ) 気温(10~33℃位) 電気(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし) 電話(□インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 524 - 11 - A - 03)

調査者名: 小林 聖子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	/
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	/

開発課題 マラウイ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 女性と児童開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Women and Child Development
	2) 配属先名 (日本語) ンペンバ青少年更生施設 (英語) Mpemba Reformatory centre
	3) 任地 ンペンバ 首都(リロングウェ)から 南 方向 380 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 犯罪を犯した少年やストリートチルドレン(7歳から14歳の男子のみ)が収容されている。施設内には小学校があり、教育省から派遣された教員が1年生から8年生まで指導している。義務教育以外に、洋裁、ブリキ加工、レンガ工、塗装の選択科目と農業は必須科目となっている。施設ではこれらの教育を通じて生徒たちに社会復帰のための指導している。予算は政府からの出資で運営されている他、ユニセフから不定期な支援がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ボランティアは必須科目である農業実習を担当する。施設内の約6haの農地を利用して野菜栽培を生徒に指導する。雨期には主食であるメイズを、乾季には小規模灌漑施設を利用して、野菜栽培を行っている。過去の隊員は近隣から鶏糞を購入し、完全有機農法に切り替えて、収量を上げ、施設内での自給自足を可能にした。今後は有機農法の定着による土壌改善と、換金作物の栽培、生徒と同僚教員に対しての野菜栽培指導が期待されている。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 生徒への基本的な農業実地指導 2. 有機農業の定着(鶏糞の利用・ぼかし肥の普及) 3. 農業部門の独立(施設の予算を利用せずに、農産物を販売しその売り上げで畑に必要なものを準備) 4. 小規模灌漑施設の拡大支援
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鍬・じょうろ・一輪車・ロープなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 指導対象者: 同僚(教員・レンガ工: 四十代)及び、施設の子供 レベル: 同僚 有機農法や野菜栽培を学び、現在継続して施設の農地を管理している。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () (チェワ語) ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(高等専門学校卒)(農学) 学歴理由: 農業の指導が必要のため ・経験() () 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(10~33℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 2 日

要請番号(JL 609 - 11- A - 04)

調査者名: 三宮 美樹

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ガボン	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 4	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 ガボン その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Breeding, Fishery and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) 農村開発庁(フランスビル・パイロットセンター) (英語) National Office Of Rural Development
	3) 任地 オート・オグエ州フランスビル県フランスビル市 首都(リーブルビル)から 東 方向 767 Km 主要都市(リーブルビル)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農村開発庁は国内における農業従事者の育成、組合活動支援、農業技術普及・指導および農地提供を行っており、年間予算は約1億円。現在6州15か所においてネリカ米の栽培及び野菜栽培普及のパイロット事業(新規作物の試験栽培、農地提供、農機具の貸与等)を展開している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の食糧自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つとなっている。現在は、バナナやキャッサバといった伝統的な食物栽培が主流となっており、米はタイや中国から輸入をしている状況である。2008年、同国においても、日本の協力によってネリカ米の試験栽培が開始され順調な育成が確認されている。しかしながら、農民に米栽培の経験のないことから、ネリカ米の普及と定着を図ることを目的として、協力隊員の要請が出てきている。既に初代隊員として村落開発普及員が派遣中。その後任として農業の知識・経験をもった人材を派遣して欲しいと今回要請がだされた。	
	2) 期待される具体的業務内容 主な活動としては以下のとおり。 ・配属先の同僚とパイロットセンターでネリカ米試験栽培を行う。 ・配属先の同僚とネリカ米に関する農家の開拓と技術指導の補助業務を行う。 ・地域住民の現金収入向上につながる活動を模索する。 ・農民に野菜栽培を指導する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農具(くわ、スコップ、ナタ、一輪車)、農作業着	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所属長30代(男性) 農民(複数) 秘書 20代(女性) スタッフ30代(男性) 大学生2名(女性)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) () 学歴理由: 実務経験がない場合は農学卒に限る ・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 農学卒であれば実務経験がなくても良い理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(熱帯雨林気候) 気温(22~32℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
況 況	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 2 日

要請番号(JL 609 - 11- A- 06)

調査者名: 三宮 美樹

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガボン	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ヶ月	1	23 / 4
	指導科目			2	24 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	/

開発課題 ガボン その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Breeding ,Fishery and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) 農村開発庁(オイエム・パイロットセンター) (英語) National Office Of Rural Development
	3) 任地 ウォレ・ンテム州オイエム県オイエム市 首都(リーブルビル)から 北東 方向 411 Km 主要都市(リーブルビル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 9 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農村開発庁は国内における農業従事者の育成、組合活動支援、農業技術普及・指導および農地提供を行っており、年間予算は約1億円。現在6州15か所においてネリカ米の栽培及び野菜栽培普及のパイロット事業(新規作物の試験栽培、農地提供、農機具の貸与等)を展開している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の食糧自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つとなっている。現在は、バナナやキャッサバといった伝統的な食物栽培が主流となっており、米はタイや中国から輸入をしている状況である。2008年に同国においても、日本の協力によってネリカ米の試験栽培が開始され順調な育成が確認されている。しかしながら、農民に米栽培の経験のないことから、ネリカ米の普及と定着を図ることを目的として、協力隊員の要請が出てきている。現在、初代隊員として村落開発普及員が派遣されている。その後任として、配属先と協力しネリカ栽培に協力することが求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 主な活動としては以下のとおり。 ・配属先の同僚とパイロットセンターでネリカ米試験栽培を行う。 ・配属先の同僚とネリカ米に関心のある農家の開拓と技術指導の補助業務を行う。 ・地域住民の現金収入向上につながる活動を模索する。 ・農民に野菜栽培を指導する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農具(スコップ、なた、くわ、バケツ) 農作業着	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所属長 40代(男性) 技術者 30代(男性) 学生 農民(複数名)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由: ・学歴(大卒)()学歴理由: 実務経験がない場合は農学卒に限る ・経験(実務経験)(3年以上)経験理由: 農学卒であれば実務経験がなくとも良い 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(熱帯雨林気候) 気温(22~32℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地 域	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 609 - 11 - A - 08)

調査者名: 三宮 美樹

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ガボン	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				

開発課題 ガボン その他 開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Breeding, Fishery and Rural Development
	2)配属先名 (日本語) 農村開発庁(クグルー・パイロットセンター) (英語) National Office Of Rural Development
	3)任地 エスチュエール州クグルー町 首都(リーブルビル)から 東 方向 60 Km 主要都市(リーブルビル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農村開発庁は国内における農業従事者の育成、組合活動支援、農業技術普及・指導および農地提供を行っており、年間予算は約1億円。現在6州15か所においてネリカ米の栽培及び野菜栽培普及のパイロット事業(新規作物の試験栽培、農地提供、農機具の貸与等)を展開している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の食糧自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つとなっている。現在は、バナナやキャッサバといった伝統的な食物栽培が主流となっており、野菜の栽培はあまり普及していない状況である。そのため、野菜栽培の知識を有する指導員・農民が少ないことから、配属先と周辺農民に対して野菜栽培普及に協力すべく、今回の要請にいたる。なお、現在初代の21-3野菜栽培隊員が派遣中。その後任として、引き続きネリカ栽培・野菜栽培に貢献をして欲しい。	
	2)期待される具体的業務内容 主な活動としては以下のとおり。 ・配属先とその周辺住民に野菜栽培を指導する。 ・配属先と同僚とパイロットセンターでネリカ米を試験栽培する。 ・新たなネリカ米栽培地の開墾作業補助を行う。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農具(ナタ、スコップ、バケツ、くわ) 農作業着 長靴	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所属長 40代(男性) 圃場管理者 40代(男性) 農民(複数名)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許()	・性別()	性別理由: ()
	・学歴(大卒)	(農学)	学歴理由: 野菜栽培の知識が必要のため
	・経験()	()	経験理由: ()
			理由: ()
			理由: ()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 域	気候(熱帯雨林気候) 気温(22~32℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 22 日

要請番号(JL 630 - 11 - A - 04)

調査者名:彦根 克己

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 野菜栽培 指導科目 (コード 1003)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			2	/
				3	/

開発課題 農村開発

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) ジャンガモ郡経済活動事務所 (英語) Jangamo Economic Activities Service Office
	3)任地 イニャンバナ州「ジャンガモ郡 首都(マプト)から 北東 方向 400 Km 主要都市(マシシ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イニャンバナ州ジャンガモ郡における農業、畜産、林業、漁業、観光などの経済活動の発展のための地域の開発を担う郡事務所。基本的には農業を中心に、畜産、林業の分野においてそれぞれの課の改良普及員、技術者が郡内各地域を巡回し農民への指導、支援を行っている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同郡の農地においてキャッサバ、とうもろこし、米、豆などの農産物を中心に農業が行われている。村落開発課の農業普及員が各村落を巡回し農民の収入向上、作物の品質向上ため農作物の育て方、農薬の使い方などの指導、種・農薬・資材の販売(供与)、家畜への予防接種などの支援を行っているが、その指導が農民に十分に行き届いていない現状がある。それに加え、いまだ未開拓の土地が非常に多く、水が豊富にある低湿地帯もうまく活用できていない。また小規模灌漑、作物の保存、加工方法や種の管理などの技術も十分とは言えない。このことから、農業普及員とともにこれらの課題に取り組むボランティアが要請された。	
	2)期待される具体的業務内容 同僚である農業普及員とともに、郡内農村を巡回し、農民および農業普及員に対して野菜栽培の技術を指導し、その生産性向上を図る。 ・小規模灌漑の紹介による野菜栽培(たまねぎ、にんじん、トマト、豆など)の指導 ・病害虫の同定および対処 ・輪作・マルチング・堆肥作りの指導 ・種、肥料、農薬等販売および販売システムの構築 ・可能であれば稲作にかかる簡単な指導	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 簡単な農機具	
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業普及員7名(内女性3名)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 () ()
		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(高卒) (農学) 学歴理由: 専門性が問われるため ・経験() () 経験理由: ・小型自動二輪以上 理由: 巡回指導に必要 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

農村での活動に移動手段が必要
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
---------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 4 日

要請番号(JL 642 - 11 - A - 03)		調査者名: 三木 典依		
国名 セネガル	職種 / 指導科目 職種 野菜栽培 (コード 1003) 指導科目 職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)	区分 (長期のみ) ○新規 ●交替 2 代目	派遣希望 期間 ●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV/SV 1 23 / 3 2 23 / 4 3 24 / 1 日系/短期等 年 月 から
開発課題 基礎社会サービスの向上				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方分権・自治体省 (受入機関名)(英語) Ministry of decentralization and local collectivities			
	2) 配属先名 (日本語) クサナル地域開発支援センター (英語) Support centre of loca development Koussanar			
	3) 任地 タンバクンダ州タンバクンダ県クサナル郡 首都(ダカール)から 南東 方向 415 Km 主要都市(タンバクンダ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) クサナル郡での地域開発を統括する地方行政機関であるが、独自の事業予算をほとんど持たないため、各技術支局と村落住民(組織)との調整業務を担当している。主な業務は①技術省庁の出先機関(農業、畜産、保健衛生)の技官と地域住民との調整、②地域コミュニティー活動への支援(社会開発、各種経済活動など)。上位機関として州地域開発支援事務所があり、その年間事業予算(人件費など経常費を除く)は約11万円。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 野菜栽培の支援を通じて地域住民の生活向上や村落行政機関と住民組織との調整を期待されている。前任者はクサナル郡内8村落で、野菜栽培の経験のあまりない住民に対し、野菜栽培の基本的技術の指導、新しい野菜の導入や食べ方の紹介など野菜栽培を通じて新たな楽しみの創出、栄養改善、収入向上をめざした活動を行っている。また同任地に配属される村落開発普及員や看護師のボランティアと協力し、技術的な支援を相互にしようことにより、より効果的な活動となることが期待されている。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. 野菜栽培などを通じて地域住民の生活向上を図る。(周辺村落に野菜栽培の支援をする) 2. 地域住民への情報提供・実施支援(市場に関する情報、栄養改善など) 3. 村落行政機関(配属先及び各技術支局など)と住民(又は住民組織)との調整			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし			
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先センター長 男性1名。農業系地域開発NGO 男性1名 女性1名 その他関係者: 地域自治体、森林局、畜産、保健、教育など		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (ブール) 6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴()() 学歴理由: ・経験()() 経験理由: ・小型自動二輪以上 理由: 村落巡回型の活動であるため ・農業経験 理由: 住民への農業指導のため			
活動用交通手段の必要性 ●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車 村落巡回型の活動であるため		研修等	形態	現職教員特別参加制度 ×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概 況 地 域	気候(ステップ気候) 気温(20~47℃位) 電気(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 □なし) 水道(□安定 □不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)			



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 11 日

要請番号(JL 642 - 11- A- 08)	調査者名: 新明 尚樹
----------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
セネガル	職種 野菜栽培 指導科目 (コード 1003)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			1	23 / 3	日系/短期等 年 月 から
				2	23 / 4	
3	24 / 1					

開発課題 村落開発

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) ニオロ県農村開発事務所
 (英語) Nioro Rural Development Service

3) 任地 カオラック州ニオロ県メディナサバ郡
 首都(ダカール)から 南東 方向 360 Km
 主要都市(カオラック)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 県内の農業分野の振興を目的に食料生産管理、病害虫対策、種苗普及、農民への技術指導を行っている。同県の森林局には、JICA技術協力プロジェクトである総合村落林業開発計画(PRODEFI/2001年~2008年)が入り、住民自身による持続的な自然資源管理の実施を実現するべく活動が行われた。農業局は、PRPDEFIとの連携の下、住民への農業技術研修及び活動後のフォローアップ等を実施した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 隊員は上記プロジェクトが研修を行った村落を対象に、研修後のフォローアップや非対象村への研修の波及を現場で支援する。ニオロ市内から30kmほど離れたメディナサバ郡において、配属先のフォローが十分でない村落を対象に乾季野菜栽培の指導や講習会を実施する。前任者は、農家収入の向上、農民の野菜摂取量の増加、また農民組織の恒常的な運営を目指した活動を実施している。メディナサバ郡には、前任者以外に村落開発普及員1名が活動中である。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動の中から隊員の経験、知識にもとづいて内容を選択し、持ち味とアイデアを活かして活動を進めることが望まれている。
 ・乾季及び雨季の野菜栽培について、村落を巡回しながら住民へ指導を行う。
 ・収入の管理能力、住民グループの組織運営能力の向上に関する支援を行う。
 ・病虫害予防に関する調査を行い、住民への指導を行う。
 ・JICAプロジェクトにより実施された各種研修(土壌保全、植林、家畜肥育等)を同県配属隊員とフォローする。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 局長1名、男性 50歳代
 農業局技官8名、30~50歳代
 元プロジェクトアニメーター

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)
 フランス語 ()
 その他 ()
 (ウオロフ語)

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴()() 学歴理由:
 ・経験()() 経験理由:
 ・小型自動二輪以上 理由: 村落巡回型の活動を行うため
 ・農業経験 理由: 住民への農業指導を行うため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

村落を巡回して活動するため

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(ステップ) 気温(20-40℃位) 電気(□安定 ●不安定 □なし)
 電話(●インターネット可 ●通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ●不安定 □なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 21 日

要請番号(JL 745 - 11 - A - 04)

調査者名: 新留 直子

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
キルギス	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 農業システムの開発

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) イシククリ州政府 (受入機関名)(英語) Issyk Kul Oblast State Administration Office
	2)配属先名 (日本語) ジェティオグズ県庁農業局 (英語) Agrarian Department, Jety Oguz Administration Office
	3)任地 イシククリ州クズルスー村 首都(ビシュケク)から 東 方向 370 Km 主要都市(カラコル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イシククリ州は全7州(うち北部3州で援助展開)中JICA支援の重点地域である。2007年12月から進行中(2010年5月まで)のJICA「バイオガス技術普及計画」プロジェクトによって同州にプラント7基が設置され、バイオガスの熱を利用した公衆浴場運営、消化液を利用してビニールハウスで野菜栽培などが始まっている。州内5県中ジェティオグズ県は肥沃な土地のおかげで野菜・果樹栽培に適した農業地帯である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) キルギスでの農家は十分な化学肥料が調達できない状況にあり、バイオガスプラントから得られる消化液の効能が確認された現在、今後広範囲で活用される余地が十分にある。実際、派遣中の初代隊員による野菜栽培は目に見える成果を出している。上述のJICA「バイオガス技術普及計画」プロジェクトでは、プラントが建設された複数農家による組合が結成された。同プロジェクトは今年5月に終了するが、今後、この組合とイシククリ州政府との連携によりバイオガス技術の普及が行なわれていく予定。組合農家のために消化液利用による野菜栽培の技術移転が必要なため、2代目隊員の要請となった。
	2)期待される具体的業務内容 JICA「バイオガス技術普及計画」プロジェクトで建設されたプラント農家にて、以下の活動を行なう。 1. プラントから出る消化液を利用した温室での野菜栽培指導 2. 野菜の病虫害対策についての助言 3. 首都の農業大学とも連携し、日本の農業についての情報提供
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・県庁農業局職員:3名、男性 ・組合の農家:7軒	5)業務使用言語(訓練言語は上段) キルギス語 () ロシア語 ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	--	--	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別(男性) 性別理由: 農家関係者が全て男性のため ・学歴() () 学歴理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 現地農家の技術指導のため必要なレベル 理由: 理由:
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(内陸的気候) 気温(-20~30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------------------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 7 日

要請番号(JL 006 - 11- A- 10)

調査者名:末満広志

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インドネ シア	職種 果樹栽培 (コード 1004) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
3	24 / 1					

開発課題 東部インドネシア開発

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) バンタイン県農業局 (英語) Bantaeng Local Government, Agriculture Office
	3)任地 南スラウェシ州バンタイン県 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 南スラウェシ州南部に位置する同県は、州内で最も小さい県で、人口は18万人、その75%が農業に従事、県収入のほとんどが農産物(一部海産物)である農業県である。2008年より就任した現在の県知事は、県の収入を増やすべく一般的な果実、野菜等の品質向上を目指すなど、様々な取り組みをしており、知事就任後、県収入は1.5倍に伸びた。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県では、新たな農産物の導入も実施しており、リンゴ、イチゴの試験栽培を開始した。 特にリンゴについては、当国東ジャワ州より2010年に1万本の苗木を購入した。 2011年には新たに2万本の購入を予定しており、今後さらに栽培本数を増やす計画である。 今般、リンゴ農家の技術や知識の向上のため、隊員の派遣を要請してきた。
	2)期待される具体的業務内容 標高約1,400mの農村(リンゴ農家軒数:約30軒)に居住し、農民グループとともに以下の活動を行う。 ①リンゴの栽培技術指導(剪定、整枝、施肥、摘果等) ②リンゴの苗木栽培指導。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般的な農機具等。

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農民グループリーダー:男性、30代 その他、農民グループ農家	5)業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒)(農学) 学歴理由: 基本的知識が必要なため。 ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 配属先要請による。 ・リンゴ栽培経験 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(任地15~25℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

電話(インターネット可 通話可 不良 なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

調査者名: 水野 茂博

要請番号(JL 048 - 11 - A - 20)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 果樹栽培 (コード 1004)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Fruit Growing			2	24 / 1	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 農業の近代化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests
	2) 配属先名 (日本語) リミタン農業試験場 (英語) Renewable Natural Resources Reserch and Development Center, Limithang
	3) 任地 リミタン 首都(ティンブー)から 東 方向 430 Km 主要都市(モンガル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業試験場は、農林畜産分野の試験・普及を通して、農家の技術向上と現金収入増を目指す機関である。東部地域はモンガル県ウェンカル農業試験場が統括し、同配属先はその下に設置されているセンターの一つである。園芸(野菜・果樹)、作物(穀類、豆類など)、飼料作物、薬用植物、森林の5部門がある。2010年より、ウェンカル農業試験場を拠点として東部6県を対象とする技術協力プロジェクトが開始されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 首都から任地までは車で2日、標高700mとブータン国の中では低地で亜熱帯気候にある。配属先では、当地に適した品種を選定し、試験場内での栽培方法の試験・研究を行い、さらに将来的な周辺市場への出荷を視野に入れた近隣農家への栽培指導・普及活動を行うことが求められている。しかし、農業試験場として、条件を変えた、栽培、記録、分析という点が十分に機能していない。そこで、2004年12月から野菜隊員が2代にわたり赴任し、試験栽培を支援してきた。任地を含む東部地域を対象としたJICA技術協力プロジェクトが果樹を中心として実施されているため、連携も期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・試験場内の圃場の土壌改良等の整備、剪定、種苗生産、病害虫への対策に関する技術が求められる。 ・試験場内において、最適品種の選定、試験の導入、栽培、収穫、記録をスタッフと行う(アボガド、マンゴ、ライチー、柑橘類、パッションフルーツ、グアバ) ・近隣農村への栽培指導(品種の選定、病害虫に対する対策、市場動向に合わせた作付け計画の策定など)	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鍬、パワーテラー1台、トラクター1台、灌漑設備、温室(苗床)、鎌、スコップ	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 園芸部門スタッフ 1名(オフィサー) 作業員20名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ゾンカ語)
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由: 果樹栽培指導に必要 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(15-45℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号(JL 524 - 11 - A - 40)

調査者名: 小林 聖子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 果樹栽培 (コード 1004) 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	/
年 月 日から					
開発課題 農業・農村開発					

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2)配属先名 (日本語) デツザ県農業事務所 (英語) Dedza District Agriculture Development Office
	3)任地 デツザ 首都(リロングウェ)から 南東 方向 85 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局 (ADD) を設置しており、ADDの下には県農業開発事務所 (DAO)、その傘下には普及所 (EPA) が配置されている。デツザDAOは管轄地域に10箇所のEPAがある。通常農業技術支援はDAOの職員からEPAの普及員に、最終的に農民へ寄与する形式になっている。同配属先に村落開発普及員の隊員が活動している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) デツザDAOの管轄地域には、大小様々な果樹農家が存在するが、それらの組織を指導する人材が不足しており、行政の支援を受ける事ができていない。通常はDAOの職員がEPAの普及員を通じて、農民への農業技術のみならず、食品加工やビジネストレーニング等の指導を行う事になっているが、他の業務が優先されて殆ど実施されていない。デツザは首都に近く、陶芸が有名な観光地である。それらの有利な点を生かし、普及員とともに果樹農家を指導できる人材が求められている。	
	2)期待される具体的業務内容 マラウイ各地には政府やNGOの主導で多くの農民がグループ化されており、管轄地域には2000以上の果樹農家がある。しかし、適切な果樹管理技術は浸透しておらず、技術指導のできる人物が必要とされている。隊員は農業普及員とともに、以下の活動を行う。 1.管轄地域の果樹農家への巡回指導 2.付属果樹園の整備及び管理・運営 3.食品加工等生産物に付加価値をつける技術導入	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし	
要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 農業事務所の園芸オフィサー 男性 40代後半	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 () (チェワ語)
	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由: ・学歴 (専門学校卒) (農学) 学歴理由: 基本的な専門知識は必要である。 ・経歴 () () 経歴理由: ・小型自動二輪以上 理由: 巡回指導が必要なため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車	a		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(サバンナ) 気温(5~30℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号(JL 524-11-A-41)	調査者名: 小林 聖子
------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 果樹栽培 (コード 1004)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Fruit Growing			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 農業・農村開発

1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security

2) 配属先名 (日本語) ムジンバ県農業開発事務所
 (英語) Mzimba District Agriculture Development Office

3) 任地 ムジンバ県チカンガワ
 首都(リロングウェ)から 北 方向 310 Km
 主要都市(ムジンバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 ムジンバ県農業開発事務所は管内の普及所職員を通じて、県内の作物、畜産、灌漑、食品加工など農業分野全体の業務を行っている。年間予算は約20万ドル。配属先への直接的な外国の援助は無いが、国際機関やNGOなどが様々な形で、配属先とともに県内の農家を支援している。県事務所、ムバワ及びチャンピラ普及所に村落開発普及員のJOCVが配属されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 チカンガワ・エスワジニ地域は寒冷な気候が果樹栽培に適しており、農業普及所では現在果樹栽培の二つのプログラムが進められている。一つは2010年にリンゴ500本、洋ナシ100本、桃50本の苗木が特定農家に配布されたもので、果樹の産地化をめざすとともに将来は苗木生産も計画している。また一方は各農家へオレンジ、グアバ、マンゴー、バナナ等の中から2種類ずつの苗木を配布したもので、各戸の食生活改善と現金収入向上を目指している。農民の果樹への理解や経験が浅く、今後、果樹栽培を地域に定着、拡大するためにボランティアの協力が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 チカンガワ農業普及所を拠点とし、担当する村落地域を巡回し、県農業事務所の果樹栽培担当者と協力して以下の活動を行う。
 1. 農民及び農業普及員への果樹(リンゴ、洋ナシ、桃、柑橘類、グアバ、マンゴー、バナナ等)の栽培、管理方法の指導。
 2. 苗木生産の立ち上げと栽培、管理方法の指導。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 県果樹栽培担当官(20代男性、大卒)、農業普及所長(50代女性、短大卒)、普及所職員(20~50代、男女、高校、短大卒)
 指導対象者は農民で、技術レベルは様々

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)
 英語 ()
 その他 (トンプカ語))

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
- ・学歴()() 学歴理由:
- ・経験()() 経験理由:
- ・小型自動二輪以上 理由: 巡回活動に必要なため
- 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車	a		x

農村部のグループを訪問する必要がある

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(サバンナ) 気温(10~30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 26 日

要請番号(JL 563 - 11 - A - 01)		調査者名: 澤田 紀久			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ブルキナ ファソ	職種 果樹栽培 指導科目 (コード 1004)	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			1 23 / 3	年 月 から
				2 23 / 4	
				3 24 / 1	
開発課題 自然資源の保全と農村開発					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・水利・水産資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of agriculture, water supply and fish				
	2) 配属先名 (日本語) ケネドゥグ県局 (英語) KENEDOUGOU Province Directorate				
	3) 任地 ケネドゥグ県オロダラ市 首都(ワガドゥグ)から 西 方向 430 Km 主要都市(ボボデュラン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 県内13郡166か村の農業・水利・水産資源関連事業の運営、管理及び生産性向上のための技術指導等を行っている。また同県は任国最大の果樹生産地のため、主にマンゴーやかんきつ類に関する業務が多いのが特徴である。青年海外協力隊による支援が2002年から開始され、これまで4代にわたる隊員派遣が行われている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域は任国最大の果樹生産地であるが、近年は果樹の老齢や疲弊による品質と収穫量の低下が問題となっている。その状況改善のため、初代がマンゴーの展示圃場設置、2代目が苗木生産支援、3、4代目が接木技術の指導や隔年結果対策のための摘果試験を実施するなど、段階的、継続的な隊員派遣は任地に根ざし、着実に効果を上げていく。一方、県局職員には隊員の技術とその理論が定着しているが、生産者レベルでは、特に摘果試験の有効性が理解されていない現状から後任が要請された。また段階的な技術導入として病虫害対策への取組みが期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 これまでの隊員が指導・普及してきた技術の定着および病虫害対策に関する活動が期待されている。 ・接木技術の導入による品種改良(マンゴー及びかんきつ類)を行う。 ・果樹の隔年結果防止対策として摘果試験を行う。(マンゴー及びかんきつ類) ・上記の試験に関する結果分析を行い、生産者に対する説明会を開催する。 ・病虫害対策に関する活動を支援する。(果実バエ、カイガラムシ、立枯病、カイヨウ病、斑葉病など) ※同任地隊員との同居の可能性あり				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 果樹(マンゴー、オレンジ、マンダリン、タンジェロ、カシュー、バナナ、グアバなど)				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県局長 40代 大卒 職員30~40代 農業専門学校卒 地域担当農業指導員 農業学校卒 生産者15~50代(経験は豊富だが理論的知識は低い)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (ジュラ語)		
			6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (高等専門学校卒) (業務関連分野) 学歴理由: 活動の遂行に不可欠であるため ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 活動の遂行に不可欠であるため ・小型自動二輪以上 理由: 地域の果樹農家巡回のため 理由:				
	活動用交通手段の必要性				
◎有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
県内の果樹農家を巡回するため				◎	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(スーダン) 気温(10~40℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号(JL 763 - 11 - A - 06)		調査者名: 田口 信二		
国名 ウズベキ スタン	職種 / 指導科目 職種 果樹栽培 (コード 1004) 指導科目 職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)	区分 (長期のみ) ◎ 新規 ○ 交替 代目	派遣希望 期間 ◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	派遣希望時期 JOCV/SV 1 23 / 3 2 24 / 1 3 / / 年 月 日 から
開発課題 農業改革・地域開発				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業水資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Water Resources			
	2) 配属先名 (日本語) 園芸研究所フェルガナ支部 (英語) Ferghana Branch of the Research and Development Institute for Horticulture			
	3) 任地 フェルガナ州クバ郡 首都(タシケント)から 南東 方向 300 Km 主要都市(フェルガナ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 支部は国立果樹研究所の支部であるが、経営的には独立採算制である。主な収入源は、果樹苗木の販売収入と貸出農地や独自農場からの売上収入であるが、今後は農家への果樹栽培技術指導の有料化も考えられている。職員20名、農場従業員350名、研究所の敷地面積730ha、その内560haが果樹園である。同支部を対象として、2011年3月までJICA草の根技術協力「フェルガナ州果樹栽培技術向上計画」が実施中である。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) フェルガナ州における果樹栽培は、綿花栽培と並ぶ主要産業のひとつであるが、旧ソ連時代の栽培方法がそのまま引き継がれ、新しい栽培技術の導入や品種改良は非常に立ち遅れている。現在、JICA草の根技術協力により、同研究所内のモデル果樹園を中心にモモやリンゴの新品種導入、剪定・摘果技術指導、木酢液散布による病害虫防除等の指導が行われているが、同技術協力は2011年で終了する。JOCVは同技術協力の日本側支援機関と連携・協力しながら、日本の先進的な果樹栽培技術の導入・定着を促進することが求められている。			
	2) 期待される具体的業務内容 JOCVは草の根技術協力の日本側支援機関である福島県伊達市の各種関係組織と連携・協力しながら、リンゴとモモを中心とした果樹栽培技術の向上をめざす。技術指導の範囲は広範囲にわたるが、以下の様な業務内容が考えられる。 1. 剪定、摘果、摘蕾 2. 木酢液の製造及び木酢液を利用した病害虫防除 3. 土壌改良 4. 収穫処理、流通販売の改善			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 リンゴ、アンズ、モモ、サクランボ、マルメロ等の農場、苗畑は十分にある。一部温室設備もあり。実験室はあるが、機材は老朽化しており現状では使用不可能。草の根技協により木酢液製造装置が設置されている。			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究所技術職員(男性約10名、30~50歳代) 農場従業員(男女、多数)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ウズベク語 () ()	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 専門知識が必要のため ・経験(実務経験) () 経験理由: 応用力が必要のため ・理由: ・理由:			
	活動用交通手段の必要性 ○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		研修等	形態
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地 況域	気候(ステップ) 気温(-20℃~40℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし) 電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)			



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号(JL 021 - 11 - A - 09)

調査者名:馬田 英樹

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
カンボジア	職種 きのこ栽培 (コード 1006)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3	年 月 から
	指導科目 きのこ栽培			2	23 / 4	
	職種(英) Mushroom Culture 指導科目(英) Mushroom Culture			3	24 / 1	

開発課題 農業・農村開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF)
	2) 配属先名 (日本語) タケオ州農業局 (英語) Provincial Department of Agriculture, Takeo Province
	3) 任地 タケオ 首都(ブナンペン)から 南 方向 78 Km 主要都市(ブナンペン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タケオ州は、州面積の約7割を農地が占めており、配属先は、農業技術の普及や農民グループの支援等、農業全般を行政管轄としている。本省を通じて多数の援助機関が多様な支援を実施している一方、JICAにおいては、2006年よりフィールド調整員および協力隊員の複数派遣を開始し、現在、村落開発普及員1名と野菜栽培隊員1名が活動している。また、農協支援プロジェクト(予算:約2000万円/年)を実施している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先職員と隊員が協同で実施している「農民組織・農協強化プロジェクト(～2010年9月)」では、州内のパイロット農協を対象に農業技術、組織運営、会計管理等の研修を行い運営能力の強化を図っている。過去、香米の生産・販売などに取り組んできたが昨今は、農産物の中でも比較的付加価値の高いきのこ(平茸・フクロダケ)に着目、栽培技術の普及に取り組んでいる。現時点では、同局で活動中の隊員1名(村落開発普及員)が菌の分離培養と種菌の製造を行い、農協に配布、農協が栽培するという形態を取っている。将来的には、配属先の職員のみで菌種製造が出来るよう専門的な技術指導が期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 州農業局の職員を対象に、以下の活動を行う <ul style="list-style-type: none"> きのこ菌の分離培養、菌株の保存維持管理、種菌の製造管理技術の指導 病原菌防除の指導 器具、機材の操作指導 また、州内の対象農協の組合員に以下の活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 菌つき苗(おが屑培地)の管理、および栽培場所の環境管理の指導 	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オートクレープ2台、簡易型クリーンベンチ、計量器、種菌製造用ガラス瓶、アルコールランプ、ピーカー、メスピセット、計量器、その他	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 州農業局職員: 男性20代～50代 高卒 農協組合員(農民): 男性30代～50代

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) <ul style="list-style-type: none"> 教諭免許() ・性別() 性別理由: 学歴() () 学歴理由: 経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 実務指導が求められる 理由: 理由:
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(熱帯モンスーン) 気温(25～40℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 4 日

要請番号(JL 048 - 11- A- 03)

調査者名: 桑園 いづみ

国名	職種/指導科目 (コード 1006)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブータン	職種 きのこ栽培 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Mushroom Culture 指導科目(英)			2	24 / 1	
				3	/	

開発課題 農業の近代化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 国立きのこセンター (英語) National Mushroom Centre
	3) 任地 シムトカ 首都(テンブー)から 南 方向 5 Km 主要都市(テンブー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.25 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はブータン唯一のきのこセンターである。当センターでは主に、①農民へのきのこ栽培や技術指導、②当センターで栽培した菌糸を農家へ供給、③野生きのこの収集や分類を行なっている。年間事業予算、約1100万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンには沢山の食用きのこが存在するが、きのこに関する高い専門知識と経験を持った人材が少なく、椎茸やしめじ以外の菌糸栽培が殆ど実施されていない。当センターで多種の菌糸栽培技術が行える事や農民の栽培知識、技術の定着を図ることが出来れば、きのこ栽培農家の所得向上につなげる事ができる。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・同僚へ効果的な菌糸の栽培、保存維持管理指導を行う ・菌糸栽培に関する器具、機械操作の指導を行なう ・きのこ栽培農家への栽培方法や技術指導を行う ・市場調査を実施し、市場価値のあるきのこの選定を行う	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オートクレーブ、簡易型クリーンベンチ、他実験器具一式	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性3名(20歳代-40歳代、短期大学農学部卒)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ゾンカ語)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由: 同僚や農民への指導のため 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(0~30℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 8 月 5 日

要請番号(JL 139 - 11 - A - 07)

調査者名: 高木 哲也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
サモア	職種 きのこ栽培 指導科目 (コード 1006)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Mushroom Culture 指導科目(英)			2	23 / 4	
				3	24 / 1	

開発課題 産業振興

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture & Fisheries
	2)配属先名 (日本語)ヌウ作物研究所 (英語) Nu'u Crop Research Institute
	3)任地 ウボル島ヌウ 首都(アピア)から 南西 方向 6 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はFAO(国連食料農業機関)の援助により設立された農業改良普及所である。主に、タロイモ、穀物、野菜、果樹等の作物の品種改良と優良品種の増殖、農家への普及を行っている。現在までに野菜、キノコ栽培、組織培養等の協力隊員を多数派遣してきた経緯がある。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サモアにおける農作物の多様化と将来の農産物の輸出を目指して、2000年にキノコ生産プロジェクトが始まった。しかし、サモアには茸に関する高い専門知識と経験を持った人材がいなかったため、現在までに2代に渡り「キノコ栽培」の協力隊員を派遣してきた。栽培技術については定着しつつあるが、まだ不十分なのが現状である。より一層の栽培技術の定着、普及方法の確立、今後の同分野における支援のあり方、技術の定着を図る必要性があるため、今回の継続した派遣要請となった。	
	2)期待される具体的業務内容 同僚と協力して、 1. 組織培養、種菌の生産、きのこ栽培を行う。 2. 農家、生産者団体に対してのきのこ栽培の普及を図る。必要に応じて講習会等を実施する。 3. サモアにおける市場開拓及び流通過程の確立を図る。 4. 今後の配属先に対する同分野における協力の方向性について調査する。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 組織培養に必要なクリーンベンチ、オートクレーブ他実験器具一式、圧力釜、冷蔵庫等。	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚研究員2名(男性1名、女性1名) その他、農民及び生産者団体	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (専門学校卒) (業務関連分野) 学歴理由: 指導及び普及するための基礎知識が必要 ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 実際に栽培法を指導するため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯海洋性) 気温(25-32℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号(JL 227-11-A-05)

調査者名: 川上 哲也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 教育の強化と質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) 国立農学校 (英語) National Institute of Agriculture
	3) 任地 ラリベルタ県サンアンドレス市 首都(サンサルバドル市)から 北西 方向 33 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同学校には3つの基本的な運営方針があり、1. 農牧セクターにおける農業技術者の育成、2. 中小規模農家への研修、3. 農牧セクターにおける調査・研究、である。2010年度予算は470万米ドル/4億3千万円。当校へは1996年から隊員派遣が開始され、これまで多様な分野で20名近くのボランティアが派遣されてきた。また、日本による機材無償、第三国専門家などの支援も実施されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同農学校は農牧分野における専門技師の育成を基本方針とする農牧省直轄の農業専門学校で、中卒生徒の進学を受け入れる3年制の学校である。1年目は野菜・果樹栽培、2年目は穀物栽培、最終学年は畜産学がカリキュラムとなっている。学生数は全校350名前後である。農業系企業や大学とも連携し、円滑な就職や進学ができるような体制を構築している。病虫害対策は同校でも重要な科目の一つでありながら、指導者が不足している。かかる状況下、他国先端技術によるトレーニング及び研修が求められている。1997年から2009年にかけて、4名の隊員が同分野で活動した実績がある。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 病虫害対策に係るラボでの実習及び学生への研修指導並びに支援 2. 学生への昆虫学指導、昆虫分類法、ウイルス鑑定法	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室及び事務用品、ラボ及びラボ機器、昆虫標本、パソコン、その他業務に必要な資機材	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総括責任者~校長、男性、50歳代 カウンターパート~植物学科主任、女性、農業技師、実務経験8年 学生	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許 ()	・性別 ()	性別理由: ()
	・学歴 (大卒)	(農学)	学歴理由: 学生へ指導するため
	・経験 ()	()	経験理由: ()
			理由: ()
			理由: ()

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯気候) 気温(20-35℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 10 月 8 日

要請番号(JL 315 - 11 - A - 02)	調査者名: 清水 義朝
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 病虫害対策 (コード 1101)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 紛争の構造的要因の低減

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) コロンビア農牧庁キンディオ県支局 (受入機関名)(英語) Agricultural Institute of Colombia, Section of Quindío
	2) 配属先名 (日本語) コロンビア農牧庁キンディオ県支局 (英語) Agricultural Institute of Colombia, Section of Quindío
	3) 任地 キンディオ県アルメニア市 首都(ボゴタ市)から 西 方向 316 Km 主要都市(アルメニア市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧水産業に関する病気予防、検疫、食品衛生監理などを実施する国立の機関。首都サンタ・フェ・デ・ボゴタ市に本部事務所、各県に32の支局を持つ。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アルメニアの主要農産物であるプラタノ(バナナ科)は、バクテリアや細菌による病気が頻発している。配属先では農民に対し、病気株が発生した場合は周辺株へ感染を防ぐため、病気株への接近を避け、病気株の半径5mの所に溝を掘るよう指導している。しかし、配属先は、病気発生時の予防策を有しておらず、病気の予防策と病気発生時の適切な対処方法を新たな課題としている。なお、JICAは、コロンビア農牧研究公社(CORPOICA)と2005年から2009年まで「食用バナナ病害の総合的管理プロジェクト」を実施し、配属先職員はこのプロジェクトへ参加もしている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. コロンビア農牧研究公社(CORPOICA)に派遣予定のシニア海外ボランティア等と情報交換・収集し、プラタノの病気の特徴を調べ、病気発生予防策を同僚とともに考案する。 2. 病気発生時の対応策について、より効果的な対策を同僚とともに試行する。 3. プラタノ以外にも、バナナ、柑橘類、植林樹などの病気についても上記のような協力を行う。 4. 任地のアルメニア以外の周辺支局においても、上記のような支援活動を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 植物病理関連機材はカルダス県支局に備えられているが、必要に応じて配属先にも顕微鏡、その他の機材を備える用意がある。	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 30歳代女性の農学士。日系3世だが日本語は話せない。農業一般の知識はあるが、植物病理関連の知識は少ない。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	---	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(修士)(業務関連分野) 学歴理由: 同僚以上のレベルが求められた ・経験() () 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(温帯) 気温(15~30℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
況域	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 4 日

要請番号(JL 224-11-A-03)

調査者名: 松本マツノ

国名	職種/指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 土壌肥料 指導科目 土壌分析	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英) Soils and Analysis			2	23 / 4
				3	24 / 1

開発課題 環境保全

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Educacion
	2) 配属先名 (日本語) 農業大学 (英語) ISA University
	3) 任地 サンティアゴ 首都(サント・ドミンゴ)から 北西 方向 180 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ISA(農業高等専門学校)は、同国政府とUSAIDの支援の下、1962年に農村地帯の振興のために設立された。その後、教育者や卒業生の資質が認められ1986年に大学のカテゴリーに昇格した。2学部(食品・農業/環境学部、社会科学/経営学部)、5学科(農業、動物学、天然資源学、畜産学、食品応用科学)を有す。学生約700名(ハイチ人を含む県外からの学生が10%)、教師105名、年間予算US\$3,070千。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 土壌の物理性・化学性に加え、作物や食品の栄養成分の分析のための設備と備品を有しているが、専門的な分析を実施できる人材がいない。品質改善、学生への指導と資質(技術/資格)の向上を目指したいとの、生産者や研究者たちからの強い要望がある中、特に土壌分析とその結果に基づく施肥指導業務のため、専門的な知見を有するボランティアの派遣が要請された。生産者の要求に応えられると同時に実験室の分析改善に繋がることが期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. サンプルの土壌分析: 土壌/作物および栄養成分分析 2. その結果に基づいた施肥に関するアドバイス 3. 生産者と大学スタッフに経験を生かした知識・技術に関する支援 4. 専門分野に進む学生の論文作成に対するアドバイス	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 研究室、ケルダール法に関する器具(窒素分析)、ガスクロマトフィー、コンピュータ、机、イス、電話	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性 2人 30代(微生物分析経験者、植物保護担当) 女性 1人 30代(栄養分析/動物栄養実験室)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: スタッフの学歴を考慮 ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 業務に必要な最限条件 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 況域 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 318 - 11 - A - 02)		調査者名: 櫻井 国弘				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エクアドル	職種 土壌肥料 指導科目 (コード 1102)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
		3	24 / 1			
開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備						
配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education					
	2)配属先名 (日本語) ルス・デ・アメリカ農牧技術学校 (英語) Technical School of Agricultural and Farming "Luz de America"					
	3)任地 サントドミンゴ・デ・サテラ県サント・ドミンゴ市 首都(キト市)から 西 方向 135 Km 主要都市(サント・ドミンゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、ヤシ、カカオの産地で知られるエクアドル西部に広がる亜熱帯地方に所在する公立学校。小・中・高一貫教育システムを採用し、生徒500人、教職員35人が在籍している。地元の農牧業を振興し、社会経済に貢献できる人材の育成を教育目標としている。年間予算約35万米ドル。					
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、普通科教育と並行して農業と牧畜業に関する全般的な授業を実施している。敷地内に5haの実験圃場を有し、パイナップル、オレンジ、とうもろこしなどの栽培を行っている。元来、同地域は土地肥沃度が高いため、土壌・肥料に関する技術の向上には、あまり関心がなかったが、今後の農業従事者には同分野の知識と技術が必要な要素であると捉えていることから、ボランティアの要請となった。主に実験圃場での実習を通じ、高校生への直接指導や教員へ技術移転が期待されている。					
	2)期待される具体的業務内容 同校の農業技術アドバイザーとして以下の活動を行う。 1. 生徒(高校生)や教員に対し、土壌改良、肥料に関する基本的な技術や知識を伝える。 2. 実験圃場での実習計画作成や運営実施に協力する。 3. 土壌改良や肥料に関する授業や教材作成を行う。 4. 近隣農家に対し土壌改良、肥料に関する助言を行う。 5. 同地方の土壌に適した作物を紹介又は導入する。					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験圃場(5ha)、農器具(手動)、トラクター、実験器具					
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 40代男性、農業教員 指導対象: 高校生、農業教員を中心であるが、近隣農家への指導を行うこともある。		5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 実習と講義を行うため ・経験(実務経験) (3年以上) 経験理由: 実習が主な活動となるため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度		
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				◎		
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域況	気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 22 日

要請番号(JL 630 - 11 - A - 08)

調査者名:彦根 克己

国名	職種/指導科目 (コード 1201)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 農業土木	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	/

開発課題 農村開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) ソファラ州農業局 (英語) Sofala Province Agriculture Office
	3) 任地 ソファラ州ベイヤ 首都(マプト)から 北 方向 400 Km 主要都市(ベイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ソファラ州1設置されている経済活動事務所を管轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般をつかさどる。局長のもとに、農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約2億円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソファラ州農業局には水利技師が少なく、必要な灌漑スキームの調査、設計、施工の監督をすることができず、灌漑農業を広めることが困難になっている。元青年海外協力隊員(15/2、農業土木)が現在、他州農業局でEUからの資金援助を受けた灌漑プロジェクトにコンサルタントとして勤務し、設計・業者の入札作業等を一手に引き受けている。その活動が評判となり、農業省方州の農業局へも技術支援が必要と考え今回のソファラ州農業局からの要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 州内の農業生産増産を図るため、同局スタッフと協力もしくは指導助言しながら、州内の灌漑農業を発展させる。状況によっては、農業省本省からの依頼で他州(マニカ州等)への出張もありえる。 1. 既存灌漑設備・施設の調査 2. 新規灌漑設備の設計・工事 3. 灌漑設備の保守管理	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 局の持つ運転手付4WDを利用できる	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑課主任、45歳、男性、専門学校卒、中級技師	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許()	・性別()	性別理由:
	・学歴(専門学校卒)	(土木工学)	学歴理由: 専門性が問われるため
	・経験(実務経験)	(5年以上)	経験理由: 経験のある同僚と業務を円滑に遂行するため
			理由:
			理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位)	電気(安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 6 日

要請番号(JL 630 - 11 - A - 09)	調査者名: 彦根克己
------------------------------	------------

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
モザン ビーク	職種 農業土木 (コード 1201) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年	1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)		○ 1 年	2	23 / 4	
			○ ヶ月	3	24 / 1	

開発課題 農業・地域農村開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) ナンプラ州農業局 (英語) Nampula Provincial Directorate of Agriculture
	3) 任地 ナンプラ州ナンプラ市 首都(マプト)から 北東 方向 2060 Km 主要都市(ナンプラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナンプラ州19郡に設置されている農業事務所(郡経済活動事務所)を管轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般をつかさどる。局長のもとに、農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約2億65百万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ナンプラ州農業局には水利技師が少なく、必要な灌漑スキームの調査、設計、施工の監督をすることができず、灌漑農業を広めることが困難になっている。元青年海外協力隊員(15/2、農業土木)が現在、他州農業局でEUからの資金援助を受けた灌漑プロジェクトにコンサルタントとして勤務し、設計・業者の入札作業等を一手に引き受けている。その活動が評判となり、農業省方州の農業局へも技術支援が必要と考え今回のナンプラ州農業局からの要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 州内の農業生産増産を図るため、同局スタッフと協力もしくは指導助言しながら、州内の灌漑農業を発展させる。 1. 既存灌漑設備・施設の調査 2. 新規灌漑設備の設計・工事 3. 灌漑設備の保守管理	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農業局の持つ運転手付4WDを利用できる可能性がある	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑課主任、45歳、男性、専門学校卒、中級技師	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(専門学校卒) (土木工学) 学歴理由: 同僚と同等以上 ・経歴(実務経歴) (5年以上) 経歴理由: 実際に調査・設計を行うため 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバンナ気候) 気温(15-40℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号(JL 048 - 11 - A - 21)

調査者名: 水野 茂博

国名	職種/指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 農業機械	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	24 / 1
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英)			3	/

開発課題 農業の近代化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests
	2) 配属先名 (日本語) バジョー農業機械化センター (英語) Agriculture Machinery Center, Bajo
	3) 任地 バジョー 首都(ティンブー)から 南東 方向 70 Km 主要都市(ウオンディ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発・普及のため、農業機械化の促進を目指して農業機械化センター(AMC)が1983年に設立され、同配属先はその地方組織である。農機具の販売や修理、トレーニングのフォローアップなどを実施している。パロのAMC本部でJICAの技術協力プロジェクトが08年6月より11年5月まで実施された。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先は、農民に対して、耕運機をはじめとする農業機械の保守や販売サービスを実施している。第10次5か年計画では、換金作物の増産が大きな目標となっており、機械の導入はその一つの手段として期待されている。農民のニーズに即した農業機械の輸入やサービス提供のために、中央と地方との連携の強化が求められ、JICAの技術協力プロジェクトも開始している。農民の視点に立った修理サービス向上という技術的な協力を行うと同時に、農業機械化促進のためのデータ収集という役割を側面支援するために要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・農機具、特に耕運機やトラクターなどの修理サービスを同様と共に提供する。この作業を通じ、スタッフの修理技術の向上を図る。 ・修理やトラブルなどを記録し、破損・故障の原因を分析する。この結果は、農業機械化訓練センター(AMTC)へ報告され、農民への保守や運転に関するトレーニング内容の改善のための資料となる。 ・バジョー農業試験場が配属先に隣接している。協力しながら、効率のよい農業機械の使い方、普及なども期待される。 ・12~2月に実施される、移動メンテナンスキャラバンに参加し、協力する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 修理対象農業機械: 耕運機Kubota K120 その他、日本製田植え機、インド製トラクターや精米機など 配属先には、修理に関連する基本的な工具や、工作機械が揃っている。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル エングニア男性5名(30~40歳代:経験5~15年程度)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ソカ語) ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 () ・学歴 (高卒) (業務関連分野) ・経験 (実務経験) (5年以上)	性別 () 性別理由: 学歴理由: 農業機械の基礎的な知識が必須 経験理由: 様々な農業機械修理を行うため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 域	気候(亜熱帯) 気温(10 ~ 35℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 24 日

要請番号(JL 306 - 11 - A - 06)

調査者名: 佐藤やよい

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボリビア	職種 農業機械 (コード 1202)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	23 / 3
	指導科目 重機・農業機械整備			2	23 / 4
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Agricultural Machinery Maintenance			3	24 / 1

開発課題 ボリビア その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練財団 INFOCAL サンタクルス校 (英語) Industrial School Fundation INFOCAL
	3) 任地 サンタクルス県サンタクルス市 首都(ラパス市)から 南東 方向 850 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は、1996年に人間開発省と民間企業連合会により設立された非営利団体である。全国9県の県庁所在地に校舎があり、事業運営は生徒の学費と企業からの寄付で賄われている。サンタクルス校は中堅技術者養成を目的に、在職者用の短期コースと2年間の技術者養成コース(7学科)を開講している。現在、シニア海外ボランティア3名(自動車整備、電気・電子制御機器管理、料理法指導)が活動中である。予算は約185万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校があるサンタクルス州は農業が主要産業の一つであり、米、大豆、サトウキビなど大規模で機械を必要とする農業の比率が高い。近年、農業機械も最新技術のものが導入され始めているが、重機・農業機械整備科の講師陣の知識は十分とはいえず、講師や生徒に対し指導を行える人材を確保すべくボランティアが要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 重機・農業機械整備学科の講師及び生徒に対して以下のことを行う。 1. 重機・農業機械整備学科のカリキュラムの見直しを支援する。 2. 教材及び指導内容の改善に協力する。 3. 最新技術に関する技術指導を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実習用機材: ディーゼル車エンジン、大型農業機械

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同学科講師(男性8名 30~60歳代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴()() 学歴理由: ・ 経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 活動遂行上必要 ・ 2級整備士(D) 理由: 活動遂行上必要 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(15~35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
 況域 電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 10 日

要請番号(JL 609 - 11 - A - 11)

調査者名: 小竹 一嘉/三宮 美樹

国名	職種 / 指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガボン	職種 農業機械	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Breeding, Fishery and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) 農村開発庁(リーブルビル事務所) (英語) National Office of Rural Development (ONADER)
	3) 任地 エスチュエール州リーブルビル市 首都(リーブルビル)から 北 方向 0 Km 主要都市(リーブルビル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農村開発庁は国内における農業・家畜飼育従事者の育成、組合活動支援、農業及び家畜飼育技術の普及・指導及び農地提供を行っており、年間予算は44億フランセーファー(約8.8億円)。現在6州15か所において食用作物及び野菜栽培普及のパイロット事業(新規作物の試験栽培、農地提供、農機具の貸与等)を展開している。日本以外に外国の援助はなし。2010年1月から協力隊員の派遣が開始されたところである。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の食料自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の1つであるが、農業従事者の割合が低く、予算措置も少ないことからあまり進んでいない状況である。同国の農業従事者はプランテーション・バナナやマニョック(キャッサバ)の栽培が主流。2008年、同国においても日本の協力によってサブサハラアフリカ諸国で成功例が報告されているネリカ米の試験栽培が同配属先によって開始され、順調な生育が確認されてきているものの、農民に米栽培の経験がないことなどから、国内におけるネリカ米の普及と定着を図ることを目的として、協力隊員の要請が出されるに至った。
	2) 期待される具体的業務内容 主な活動としては、以下のとおり ・配属先同僚とともにパイロット事業で稼働中の農業機械についての現状調査 ・配属先同僚及び農業従事者に対する同農業機械の修理及びメンテナンス指導(補助) ・配属先同僚とともに同国における農業機械に関する市場調査の実施 ・市場調査の実施後、同専門的知見から導入が望まれる農業機械について、配属先に対する提言の実施 ・その他、農業及び家畜飼育従事者の現金収入向上に繋がるアイデアを提案し、生活向上の側面支援を図ることも期待されている。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トラクター

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総裁(50代男性)、技術局長(40代男性)、他スタッフ約20名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 農業機械に関する知見・経験が必要のため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(22~32℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 7 日

要請番号(JL 012-11-A-11)

調査者名:後藤 晃

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 家畜飼育 (コード 1402) 指導科目	○新規 ●交替 9 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	23 / 4
				3	24 / 1
年 月 日 から					
開発課題 生計向上(貧困層の自立)					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA				
	2)配属先名 (日本語) 東ネグロス州獣医事務所 (英語) Provincial Veterinary Office				
	3)任地 東ネグロス州 ドماغッテ市 首都(マニラ)から 南東 方向 650 Km 主要都市(マニラ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.2 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先は同州6市19町を所管する州の獣医事務所であり、同地域は1998年に終了した隊員グループ派遣「家畜人工授精強化プロジェクト」サイトの一つであり、同プロジェクト関連等で8名の家畜飼育隊員が活動した。事務所は52名(うち人工授精師12名)のスタッフを有し、2009年の同事務所酪農予算振興は約150万円。現在同事務所は人工授精用精子生産及び配布の重要拠点となっている。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 東ネグロス州は「家畜人工授精強化プロジェクト」の成果もあり人工授精の一先進地域になっている。近年酪農にも力を入れ乳牛の大規模導入、酪農家戸数の増加、組合の形成、工場の設立、乳製品の製造、マーケティングなど規模を拡大し続けている。この大きな進展に伴い、改善すべき問題点や課題もより多岐にわたり複雑になってきていることから、隊員の更なる要請となった。				
	2)期待される具体的業務内容 業務は地域を巡回し、酪農についての勧誘・広報・助言指導を行うことで地域における酪農業を促進し、定着に向けた支援をする。具体的に想定される活動内容は以下のとおり。 ① 飼育管理指導(生乳生産管理、衛生管理等)。 ② 生産された牛乳を使用した乳製品(ヨーグルト・アイスクリーム等)開発のための助言。 ③ 乳房炎予防への助言。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 機、PC(共有)、顕微鏡				
資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 人工授精・酪農普及コーディネーター(男性50代)		5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ビサヤ語)		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由: ・学歴(大卒)(畜産学)学歴理由: 農家への酪農振興のために酪農知識が必要 ・経験(実務経験)(2年以上)経験理由: 要請内容から実務経験は必要 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●單車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 気候(熱帯性) 気温(20-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 048 - 11 - A - 04)		調査者名: 水野 茂博		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期
ブータン	職種 家畜飼育 (コード 1402)	○新規 ◎交替 2 代目	◎2 年 ○1 年 ○ヶ月	JOCV/SV
	指導科目			1 23 / 3
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2 24 / 1
				3 /
年 月 日から				
開発課題 農業の近代化				
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests			
	2) 配属先名 (日本語) ジャカル農業試験場 (英語) Renewable Natural Resource Reseach and Development Centre, Jakar			
	3) 任地 ジャカル 首都(テンブー)から 東 方向 257 Km 主要都市(ジャカル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先は、ブータン中央部4県(プムタン、サルパン、シムガン、トンサ)の農業分野(野菜、果樹、森林資源、家畜)の調査研究・普及と、全国レベルでの家畜に関する調査研究と普及を担っている。特に家畜分野では、他のRNR-RDCと連携し、新しい技術の普及が期待されている。施設の年間予算は約91万ドル。現在は乳牛部門にJICAボランティアの他、森林部門に豪国、養蜂部門にネパールの援助を受けている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンでは、ミルク生産は牛、ヤクが主であり、バター、チーズの乳製品に加工され消費される。家畜の8割はローカル種で乳生産量が少ない(平均2-3L)。そこで、ジャージー、ブラウンスイス等の外来種の人工授精を導入し、ローカル種と外来種の交雑による品種改良が実施されている。前任者は配属先地域において機能的でなかった人工授精サービスを改良し、人工授精や妊娠鑑定、リピーターブリーダーの治療等の繁殖管理サービスを実施。またジャージー牛人工授精を普及させるためのウシの調査、人工授精後の評価なども同僚と行っている。人工授精など繁殖管理技術を農家レベルにまで普及させ、飼養管理レベルを向上させることが目標である。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・人工授精サービスを同僚とともにやり、サービスの円滑化、農民への更なる普及のための支援を行う。 ・ブータンに適した繁殖管理技術(人工授精、妊娠鑑定、ホルモン剤を使った発情同期化など)の導入、助言、普及。 ・人工授精を導入した乳牛の普及のための、家畜調査を同僚と実施(繁殖状況、乳量、子牛の成長評価、経済的効果等)。 ・人工授精後の評価も行い、成功率を向上させるための指導(これまでは、3割程度とされている)。 ・農家の乳牛飼養管理レベル向上のための具体的な指導を、講習会、農家訪問時などに行う。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 液体窒素、冷凍精子輸送用タンク、冷凍精子、AIガン、シース管、シース管カバー、冷凍精子保存用タンク、ホルモン剤(GnRH製剤、PGF2α製剤、CIDRが入手可能)			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プログラムダイレクター: 40代、獣医 リサーチアシスタント: 4名、男性、20~40代、人工受精の経験は2年~10年		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 () (ゾンカ語)	
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)			
条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 学歴理由: 現地調査から普及まで一連の知識が必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 現地に即した指導が必要 ・家畜人工授精師 理由: 技術指導に必要 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車				現職教員特別参加制度
				◎
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概況	気候(寒冷) 気温(-5~25℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	
地域	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 24 日

要請番号(JL 248 - 11 - A - 01)

調査者名:菅谷 茂之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ニカラグ ア	職種 家畜飼育 (コード 1402) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	24 / 1
				3	/
				年 月	から

開発課題 農村における貧困削減

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 技術庁 (受入機関名)(英語) National Technology Institute
	2)配属先名 (日本語) サティアゴ・バルビノス農牧教育センター (英語) Santiago Baldovinos Agricultural Technic Education Centre
	3)任地 マタガルパ県ムイムイ 首都(マナグア)から 北東 方向 140 Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1964年に設立された農業学校が前身で1991年に技術庁傘下に入った。周辺は農牧地帯で800世帯の殆どが酪農家である。1998年からは学生だけでなく、2年生の実習を兼ねた周辺地域の小・中規模酪農家に対する指導も開始した。2年課程で学科は農牧・獣医学の2コース。学生は合計約300名(各過程150名程度)でその殆どが学校内で寄宿舎生活をしている。予算は207千米ドル(日本円約2千万円)

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先のある地域は国内でも有名な乳牛飼育地帯である。配属先講師は学生に対する指導法が確立されておらず旧態依然とした指導法である。2010年5月に終了した技術協力プロジェクト「中小規模農家牧畜生産性向上計画」及び乳製品品質向上の短期専門家の活動を紹介し、ボランティアスキームを説明したところ要請に至った。上記技術協力プロジェクトで作成したテキストを活用し、正しい知識の指導が期待される。	
	2)期待される具体的業務内容 配属先である農牧教育センター(2年生課程)で、 1. 講師の家畜飼育・家畜衛生に関する講義・実習の助言をする。 2. 学校の講師・生徒および周辺の生産者に対する繁殖管理(主に牛)指導。 3. 配属先および近郊小・中規模生産者農家(約50戸程度)の農場管理に関する助言をする。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター・外科手術道具一式・検査機材一式・計量器	
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 副校長①: 男性40代 経験20年(総務管理部門) 副校長②: 男性40代 経験20年(教員管理部門) 獣医科教員7名(経験平均3年) 生徒約300名	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()
	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別(男性) 性別理由: 職員・学生のほとんどが男性のため	・学歴(大卒) (畜産学) 学歴理由: 基本的知識は必須
	・経験() () 経験理由:	・家畜人工授精師 理由: 業務上必須

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(熱帯) 気温(20~30℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
況域 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 318 - 11 - A - 03)

調査者名: 櫻井 国弘

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エクアドル	職種 家畜飼育 (コード 1402)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	24 / 1				

開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) カラサコン高等農牧技術学校 (英語) Superior Technical Institute of Agricultural and Farming "Calazacon"
	3) 任地 サントドミンゴ・デ・サテラ県サント・ドミンゴ市 首都(キト市)から 西 方向 135 Km 主要都市(サント・ドミンゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、農業と畜産を専門課程にした公立高等専門学校。農業関係の人材育成と技術の向上を目的とし、①野菜・果物栽培、②家畜飼育(乳牛、養豚、養鶏など)、③農産物加工に関する課程が設定されている。また、地域農業の振興に貢献するため、近隣農家へ家畜飼育に関する技術指導や調査も行っている。学生数700人。教職員70人。数年間予算約80万米ドル。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、任地周辺の主要産業は農業であり、かつその約半数が乳牛飼育に従事しているという背景を踏まえ、乳牛飼育の技術全般を生徒に教授してきた。しかし、昨今、牛乳の生産量を増加するための技術や知識に関するニーズが高くなり、ボランティアの要請となった。同校には数年前ではあるが、野菜隊員など歴代5隊員が活動し、高い評価を受けていることも要請理由のひとつである。
	2) 期待される具体的業務内容 同校技術アドバイザーとして、以下の活動を行う。 1. 生徒に対し、牛乳の生産量向上に関する授業(講義、自習)を行う。 2. 同校教員を対象とし、牛乳の生産量向上に関する技術移転を図る。 3. その他、乳牛の管理方法、疾病対策、繁殖、飼料などに関する飼育全般に関する助言を行う。 4. 同校が行う地域農業振興活動(巡回指導、調査など)に協力する。 5. 可能な範囲で高温多湿地域での牛乳の管理・保存方法や乳製品加工技術に関する助言を行う。

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 乳牛33頭、実験圃場(40ha)、搾乳機、実験室、人工授精器
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 40代男性、獣医師 同僚: 50歳代男性 畜産技師 指導対象: 学生、畜産課教員を中心であるが、近隣農家への家畜飼育に関する指導を行うこともある。

資格条件	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (畜産学) 学歴理由: 高等専門学校で講義を行うため ・経験(実務経験) (3年以上) 経験理由: 実習や近郊の巡回指導もあるため 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
状況	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 14 日

要請番号(JL 318 - 11 - A - 15)

調査者名: 櫻井 国弘

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エクアドル	職種 家畜飼育 (コード 1402)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 その他

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) モロナ・サンティアゴ県庁 (受入機関名)(英語) Prefectural Government of Morona Santiago
	2) 配属先名 (日本語) モロナ・サンティアゴ県庁 (英語) Prefectural Government of Morona Santiago
	3) 任地 モロナ・サンティアゴ県マカス市 首都(キト市)から 南 方向 450 Km 主要都市(マカス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.25 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 人口約15万人を擁するエクアドル南部アマゾン地域に位置するモロナ・サンチャゴ県の行政機構。交通網整備、観光開発、農牧業振興が現在の経済開発上の優先課題であり、経済・人材・生産開発局が主務。年間予算は、県庁全体で25億円相当。ボランティアを受け入れる経済・人材・生産開発局は、1.2億円相当。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県では牛の畜産・酪農の従事者が多く、農牧業の主軸となっており、畜産・酪農振興が同県の経済発展には欠かせない要素となっている。県庁では畜産・酪農農家の所得向上を目的に、牛肉・牛乳の生産力向上を図る支援を行っている。しかし、牛乳の生産性(質と量)向上を図れる技術者が不足していることからボランティアの要請となった。同配属先に派遣された18年度1次隊及び21年度1次隊の両隊員は、乳牛の飼料の改善や繁殖に関する支援活動を行った。
	2) 期待される具体的業務内容 牛乳の生産力(量と質)向上に関する全般的な活動を行う。特に、飼料に関する調査、課題把握、改善案提示、指導が期待されている。 1. 村落部の酪農農家を巡回し、農家に対し個別指導を行う。 2. 県・市の農業技術普及員を対象とした講習会開催を行う。 3. その他、必要に応じて、繁殖、衛生・栄養管理、疾病予防など飼育管理全般に関するアドバイスを関係者に行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 人口受精器、土壌分析器

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 開発課課長: 30歳代女性 獣医師: 30歳代男性 畜産従事者:	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 学歴理由: 畜産農家、関係者への指導があるため ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 実務的な分析と実技が必要なため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(亜熱帯) 気温(15-30℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
況域	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 524-11-A-05)

調査者名: 小林 聖子

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 4
	指導科目			2	24 / 1
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	/
年 月 から					
開発課題 農業・農村開発					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security				
	2) 配属先名 (日本語) カロンガ農業開発局 (英語) Karonga Agriculture Development Division				
	3) 任地 カロンガ県カロンガ 首都(リロングウェ)から 北 方向 530 Km 主要都市(カロンガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域にわけ、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。その下には県農業事務所(DAO)、普及所(EPA)がある。配属先は管轄内の下部組織と連携して、畜産振興や農業関連技術(加工や栄養も含め)の支援を行っている。おもな産業は稲作・椰子油・キャッサバ・綿花であり、畜産、特に酪農振興は始まったばかりである。現在家畜飼育隊員(21-4)が活動中である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が有効な手段として期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成計画の実施に合意した。5年間で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師の支援が計画されている。前任者はこの計画に沿って、研修に参加する農民の選抜、研修の支援、人工授精師に同行しての技術支援、農民を対象にしたワークショップの開催、人工授精業務体制の支援などを行っている。				
	2) 期待される具体的業務内容 農民人工授精師養成計画に沿って関連隊員などと協力して主に次のような業務を行う 1. 人工授精師に技術的な支援をする 2. 人工授精研修と妊娠診断研修の講義、実習において、マラウイ人講師を補佐する 3. 農家において人工授精の普及、定着にむけた活動を行う				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性4人。主な同僚は人工授精調整員で50代、日本での研修経験あり。指導対象として予想される数名の農民人工授精師の技術レベルは1人を除いて初心者といえる。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () (トウンブカ語) ()		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由: ・学歴 () () 学歴理由: ・経歴 () () 経歴理由: ・家畜人工授精師 理由: 人工授精研修で指導的な立場であるため ・小型自動二輪以上 理由: 農家への巡回指導があるため 				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車				P	×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 域	気候(サバンナ) 気温(10-30℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号(JL 524-11-A-42)

調査者名:小林 聖子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育 (コード 1402) 指導科目	○新規	●2年	1 23 / 3	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)	●交替	○1年	2 23 / 4	
		5代目	○ヶ月	3 /	
開発課題 農業・農村開発					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security				
	2)配属先名 (日本語) ムズ農業開発局 (英語) Mzuzu Agricultural Development Division				
	3)任地 ムジンバ県ムズズ市 首都(リロングウェ)から 北 方向 370 Km 主要都市(ムズズ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。ムズズ農業開発局は管轄内の下部組織である県農業開発事務所(DADO)や普及所(EPA)を指揮しながら農業分野全般の事業を行っている。外国の援助やマラウイ国内のNGOが様々な形で関わっているが、配属部署である畜産課への直接的な援助はない。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が期待されている。ムズズ農業開発局管内には30人以上の人工授精師がいるが、凍結精液や液体窒素の配布体制の不備、機材不足などの理由で人工授精を十分に行えていない授精師が多い。2006年にマラウイ政府とJICAはボランティアによる農民人工授精師養成計画の実施に合意し、5年間に全国で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師の支援を計画しており、要請はこの計画に関連して出されている。				
	2)期待される具体的業務内容 「農民人工授精師養成計画」に準じて、フィールド調整員、関連隊員などと協力して主に次の業務を行う 1. 人工授精師に技術的な支援をする 2. 人工授精事業の管理運営を支援する 3. 人工授精研修と妊娠鑑定研修の講義・実習において、マラウイ人講師を補佐する 4. プロジェクトに関連する報告書を提出する 5. 農家を訪問し、人工授精の普及、定着にむけた活動と飼養管理の助言をする				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器など				
資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性5名。主な同僚は人工授精調整員で40才代。指導対象として予想される農民人工授精師の技術レベルは様々である。		5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (トゥンプカ語)		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由: ・学歴()()学歴理由: ・経験()()経験理由: ・家畜人工授精師 理由:人工授精研修において指導者となるため ・小型自動二輪以上 理由:農家への巡回指導が必要のため				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●單車 ○自転車			a	P	x
農村への巡回指導の移動手段として必要					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(サバンナ) 気温(5~30℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	
電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし					



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 2 月 9 日

要請番号(JL 524 - 11 - A - 43)	調査者名: 小林 聖子
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 家畜飼育 (コード 1402)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 3	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry			2	23 / 4	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 農業・農村開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2) 配属先名 (日本語) ムチンジ県農業開発事務所 (英語) Mchinji District Agriculture Development Office
	3) 任地 ムチンジ 首都(リロングウェ)から 西 方向 100 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局 (ADD) を設置している。配属先はカスング農業開発局の下部組織にあたる、農業開発事務所 (DADO) である。その傘下にある普及所 (EPA) を指揮しながら農業分野全般の事業を行っている。外国の援助やマラウイ国内外のNGOが様々な形で関わっているが、配属部署である畜産課への直接的な援助はない。配属先の年間予算は約1千5百万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が期待されている。現在配属先管轄地域には1名しか人工授精師がおらず、100頭以上の乳牛に対応できていない。2006年にマラウイ政府とJICAはボランティアによる農民人工授精師養成計画の実施に合意し、5年間に全国で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師の支援を計画しており、要請はこの計画に関連して出されている。
	2) 期待される具体的業務内容 同隊員はプロジェクト要員ではないが、「農民人工授精師養成計画」に準じて、調整員、関連隊員などと協力して主に次の業務を行う 1. 人工授精師に技術的な支援をする 2. 人工授精事業の管理運営を支援する 3. 農家を訪問し、人工授精の普及、定着にむけた活動と飼養管理の助言をする
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器など
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性2名。同僚は人工授精業務の経験はない。

5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) 英語 () その他 () (チェワ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由: ・学歴 () () 学歴理由: ・経験 () () 経験理由: ・家畜人工授精師 理由: 人工授精研修において指導者となるため ・小型自動二輪以上 理由: 農家への巡回指導が必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車	a		x

農村への巡回指導の移動手段として必要
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(サバンナ) 気温(10~33℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
--



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 545 - 11 - A - 02)

調査者名: 古川 順

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 家畜飼育 (コード 1402)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	/
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	/
開発課題 農業近代化促進					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方自治省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government				
	2) 配属先名 (日本語) ムピジ県庁 獣医事務所 (英語) Mpigi District Local Government Veterinary Office				
	3) 任地 ムピジ県ムピジ 首都(カンバラ)から 西 方向 40 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車)で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムピジ県は首都カンバラ近郊に位置し、東部は起伏の多い地形に小規模農業、西部は牛の飼養として大規模畜産農業が展開している。鶏を筆頭に肉牛、豚、山羊などが飼養されており、農家の家畜に対する関心は高い。配属先は農家に対する家畜衛生サービス(疾病治療、ワクチン接種、農家指導)を主業務としている。同県には村落開発普及員を中心に多数の青年海外協力隊員の派遣実績がある。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国では国民の8割以上が都市部以外に住んでおり、多くが小規模な農家で、牛や山羊、豚、ニワトリなどを小規模で飼っている。県から農家に対しては疾病予防、適正施設管理、飼料改善、生産性向上などの技術紹介が実施されているが、十分とはいえない。牛肺疫、ブルセラ病、トリパノソーマ病、乳房炎、寄生虫検査を実施し、これらの疾病等への改善指導も望まれている。前任者は疾病予防のための活動を実施している。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 県の獣医事務所が実施している家畜衛生サービスを現地スタッフと一緒に担当する。 2. 村々を巡回し、家畜の飼育状況、飼料の把握、疾病の種類、疾病予防の現状などを調査する。 3. 畜産農家に対し、家畜の飼育技術改善に関する助言を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ヘマトクリット遠心器、顕微鏡、オートクレーブ等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル チーフ(1名 男性 獣医師) 畜産普及員(1名 男性 畜産スタッフ)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ガンダ語)		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 農家を指導した経験が必要のため 理由: 村々を巡回して活動するため 理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車				x	
村々に巡回して活動するため					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(亜熱帯) 気温(20-30℃位)	電気	<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
況域	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道	<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 12 日

要請番号(JL 548 - 11 - A - 01)

調査者名: 若林 昌広

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 家畜飼育 (コード 1402)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	24 / 1
					年 月 日から

開発課題 農業セクター開発プログラム(ASDP)の効果的実施

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食料保障組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Food Security and Co-operatives
	2) 配属先名 (日本語) 農業省ムトワラ研修所 (英語) Ministry of Agriculture Training Institute (MATI) - Mtwara
	3) 任地 ムトワラ州ムトワラ 首都(ダルエスサラーム)から 南 方向 400 Km 主要都市(ムトワラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国8か所にある農業普及員養成のための研修所である。0レベル(中学2年~高校2年程度)修了者対象のCertificateコースと、Aレベル(高校3年~大学教養課程)修了者対象のDiplomaコースを持つ。両コースとも2年間で農作物と家畜についての理論と実務を学ぶ。修了後は、普及員として、全国各村(Certificateコース修了者)と各郡(Diplomaコース修了者)に配属される。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業分野は、GDPの約4割以上を占め、かつ、人口の3分の2の生計を支えており、国の経済成長の核である。政府は全国各村に農業普及員の配置を目標にその養成に力を入れている。この研修所は、従来は農作物のみを指導する普及員の養成を行っていたことから、家畜について指導する教員が非常に不足しており、JOCVが要請された。教員は約20名いるが、家畜部門は、県あるいは州の担当官ら3人が非常勤で受け持っている。	
	2) 期待される具体的業務内容 他のスタッフと協力し、以下の業務に取り組む。 1. 生徒に対する、牛、羊、山羊、豚、家禽等の家畜飼育に関する理論と実技の指導 2. 同僚教員の支援、指導	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室、牛飼育棟、山羊・羊飼育棟、豚飼育棟、家禽飼育棟	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教員20名(7割以上が大卒)、Certificateコースの約490名、Diplomaコースの約50名の学生。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () スワヒリ語 ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由:	・学歴(大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 配属先の要請
	・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 配属先の要請	理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(海岸性気候) 気温(20~35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 1 月 5 日

要請番号(JL 048 - 11 - A - 05)

調査者名: 水野 茂博

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 獣医・衛生 (コード 1403) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)			2	24 / 1
				3	/
年 月 から					

開発課題 農業の近代化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests
	2) 配属先名 (日本語) 国立家畜繁殖プログラム (英語) National Livestock Breeding Programme, Yusipang
	3) 任地 イエシパン 首都(ティンブー)から 東 方向 15 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農林省内の畜産局に属する国立家畜繁殖プログラムは、ブータン全国の家畜の繁殖と乳製品の向上を主として行っている。畜産を主として行うジャカールの農業試験場等と連携し、全国の乳牛の品種改良を行い、新規の繁殖管理技術の導入、指導、普及も担っている。さらに全国の農家に対する畜産技術向上のための普及も行っている。年間予算は約31万ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンでは、ミルク生産は牛、ヤクが主であり、バター、チーズの乳製品に加工され消費される。家畜の8割はローカル種で乳生産量が少ない(平均2-3L)。そこで、ジャージー、ブラウンスイス等の外来種の人工授精を導入し、ローカル種と外来種の交雑による品種改良が実施されている。人工授精も一般化し、全国で実施されている。しかし、未だローカル種による自然交配も多く、授精率は低い。また、妊娠鑑定が殆どなされていないこと、不妊牛に対する治療が十分に行われていないこと等から改良は進んでいない。今回さらなる改良技術として受精卵移植を導入することとなった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・発情の同期化と人工授精に関する助言・支援 ・受精卵移植に関する設備の立上げに係る助言・支援 ・採卵、凍結保存、移植、妊娠鑑定など受精卵移植に係る一連の手順、技術、管理、評価に係る助言・支援 ・農家への人工授精の実施 ・精液ストロー生産に係る支援 ・ジャージー牛、ブラウンスイス牛の品種改良支援	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 液体窒素、冷凍タンク、冷凍精子輸送用タンク、冷凍精子、AIガン、シース管、冷凍精子保存用タンク、ホルモン剤(GnRH製剤, PGF2α製剤, CIDRが入手可能)	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プログラムダイレクター: 獣医 家畜繁殖技術者: 男性、50代、獣医、経験24年	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ソカ語) ()
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (獣医学) 学歴理由: 現地調査から普及まで一連の知識が必要 ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由: 技術指導に必要 ・獣医師 理由: 技術指導に必要 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			◎

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5~30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 春 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 545 - 11 - A - 03)	調査者名: 古川 順
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 獣医・衛生	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	23 / 4
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)			3	24 / 1

開発課題 農業近代化促進

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) ムバレ県獣医事務所 (英語) Mbale District Veterinary Office
	3) 任地 ムバレ県ムバレ 首都(カンパラ)から 北東 方向 250 Km 主要都市(ムバレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムバレ県獣医事務所は、主にムバレ県内畜産農家の家畜に対し、疾病コントロールサービス(ワクチン接種等)・治療・疾病診断を実施している。地方分権化の影響で、県が細分化されているため、ムバレ県のみならず、ムバレ県から分かれた県(獣医事務所及び獣医師が配置されていない)までその業務を統括している。予算は、年間約85万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国内の家畜疾病診断体制の強化を図るため、農業畜産水産省とマケレレ大学が共同で家畜疾病診断センターの枠組みを構築し、JICAはその機能強化のため、2010年より技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を開始している。その計画の中で、地方からの疾病診断材料を確保するため、ムバレ県はプロジェクトのターゲットエリアに設定された。このターゲットエリアへの技術協力の一環としてボランティアが派遣されることになった。現在、短期ボランティアを要請中である。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 県獣医事務所管内の農家からのサンプリングと県ラボでの一次診断。 2. 一次診断に係る技術協力と農家への疾病対策普及指導。 3. 結核・牛ブルセラ病や鶏ニューカッスル病といった一般的な疾病の検査。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡・遠心分離器・滅菌機・インキュベーター・オートクレーブ・ヘマトクリット遠心器	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名(獣医師2名・ラボテクニシャン1名)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験() () 経験理由: ・獣医師 理由: 業務上必要 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(20-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 22 年 12 月 20 日

要請番号(JL 545 - 11 - A - 04)

調査者名:古川 順

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ウガンダ	職種 獣医・衛生 (コード 1403) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)			1	23 / 3	年 月 から
				2	23 / 4	
3	24 / 1					
開発課題 農業近代化促進						

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2)配属先名 (日本語) ムバララ県獣医事務所 (英語) Mbarara District Veterinary Office
	3)任地 ムバララ県ムバララ 首都(カンパラ)から 南西 方向 300 Km 主要都市(ムバララ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムバララ県獣医事務所は、主にムバララ県内畜産農家の家畜に対し、疾病コントロールサービス(ワクチン接種等)・治療・疾病診断を実施している。地方分権化の影響で、県が細分化されているため、ムバララ県のみならず、周囲キルワラ県他ムバララ県から分かれた県(獣医事務所及び獣医師が配置されていない)までその業務を統括している。予算は、年間約100万円。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国内の家畜疾病診断体制の強化を図るため、農業畜産水産省とマケレレ大学が共同で家畜疾病診断センターの枠組みを構築し、JICAはその機能強化のため、2010年より技術協力プロジェクト「家畜疾病診断・管理体制強化計画」を開始している。その計画の中で、地方からの疾病診断材料を確保するため、ムバララ県はプロジェクトのターゲットエリアに設定された。このターゲットエリアへの技術協力の一環としてボランティアが派遣されることになった。現在、短期ボランティアを要請中である。	
	2)期待される具体的業務内容 1. 県獣医事務所管内の農家からのサンプリングと県ラボでの一次診断。 2. 一次診断に係る技術協力と農家への疾病対策普及指導。 3. 結核・牛ブルセラ病や鶏ニューカッスル病といった一般的な疾病の検査。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡・遠心分離器・滅菌機・インキュベーター・オートクレーブ・ヘマトクリット遠心器	
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名(獣医師2名・畜産普及員1名)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () ()
	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経歴() () 経歴理由: ・獣医師 理由: 業務上必要 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(20-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---